



RE:Crazy9

2012.10.07-2014.03.16
Fate/Zero Fan Book
Gilgamesh x Tokiomi **R18**





死に至る病

正常にパスの繋がったマスターと
サーヴァントによる、
更なる魔力供給を
目的とした交接は

人のそれからは逸脱した
尋常ならざる快樂をもたらすという

聖杯より得た知識が真実か否か…





それは

この男の反応を
見れば明らかだ



やめ……っ



駄目
です……

だめ

王

おう

ああ……っ



王……っ
も

これ以上
は

やあ……っ





瘡のように
身体を震わせ

過ぎた快楽に
耐えようと
懸命に足掻く



お綺麗な
セックスしか
知らぬ男が

よくもまあ
毎度飽きもせず
無駄な事を...



我でさえ意識を
飛ばしかねない
この強烈な快楽に

ひとの身で
耐えられるわけも
ないというのに



強すぎる快樂は

痛みにも似ている

悪趣味
極まらないな



アホな...

綺礼…

何を言うか

この世の快と悦
全てを味わい
尽くした我でさえ
かついぞ至らな
かった悦楽だ

お前もアサシン
相手に試して
みるが良い

娯楽だ
目撃者だ



あれには
女も…

そんな顔を
するな



しかしまあ

つまらぬ
つまらぬと
思っていたが…

あれから
求めるように
仕向けてみるのも
一興かもしれない



あり得んよ

師は平静を
乱す事を
なにより
嫌悪される

まして自ら
快楽に流され
るなど…

ほう？

綺礼

貴様は精神が
肉体を支配
すると…

そう信じて
いるのか？

なるほど
ふさぎ込んだ者は
肉体にも変調を
来すと言う…

だが


我に
言わせれば
逆だな

それと気づかぬ
程度に肉体が
病んでい
るからこ


精神に影響を
与える




肉体が精神を
使役するのだ



愛する者を
慈しむ
かのように



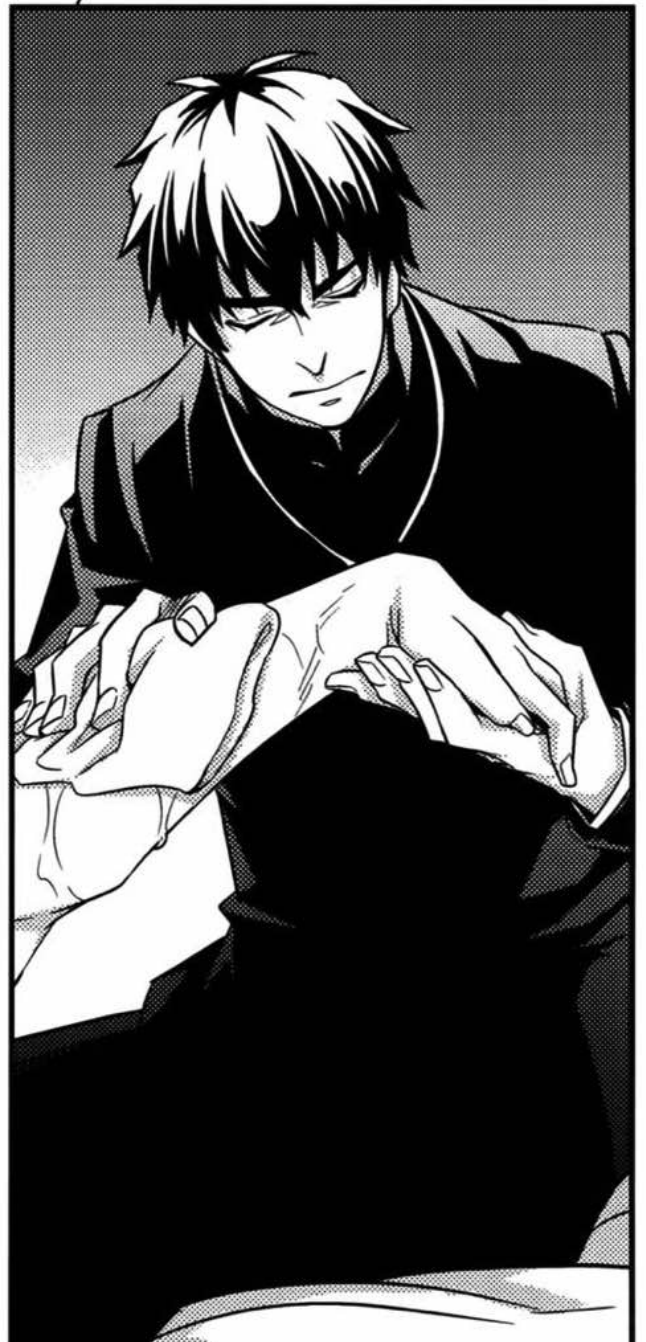
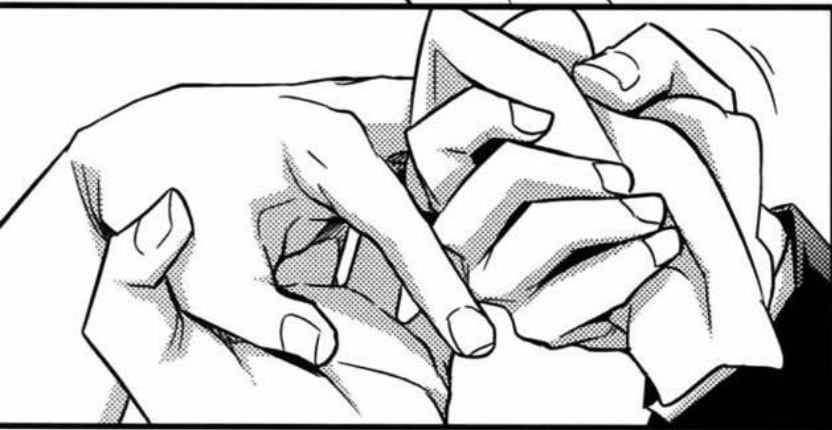
美しい花を
愛でる
かのように…

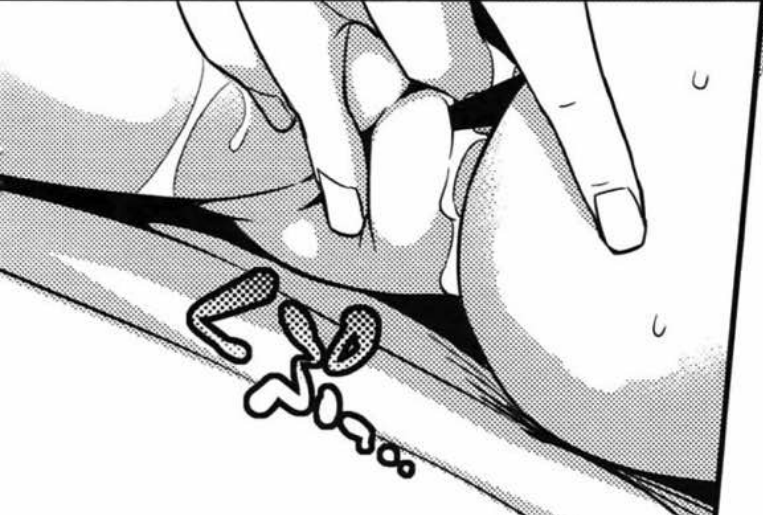


そう続け
られた者の
精神は…

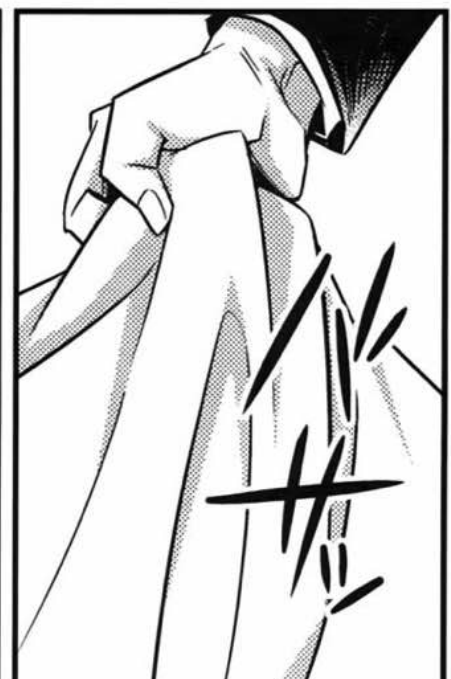
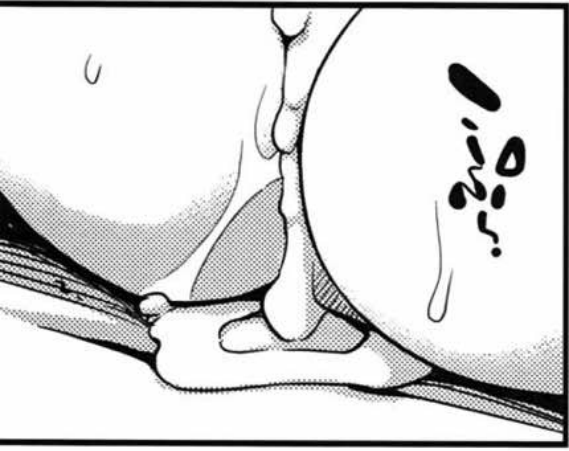
なあ？
綺礼？

分
からぬお前
ではあるまい？





あゝ







少し

回復を...



お...

う?



ん...



!

ん...





体液交換による
魔力供給は
下等な魔術師の
為す事…と

おっしやり
ましたが



あ…
わたし
は

私は…っ



それを強いて
いるのは
あの男です

あなた
の
咎
では
ない



出過ぎた真似
をしました

失礼します



と…
が？

咎…か

貴様も存外
意地の悪い

お前のして
いることは—

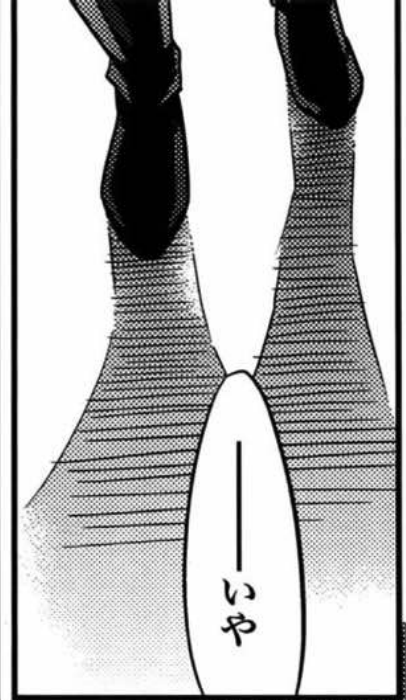
これ以上
師を惑わすな

お前が言うか

分かっているのか、
ギルガメッシュ



忘れろ



— いや



…そう



どんな顔を
しているやら



とんだ師も
いたものだな



?

綺麗が
来てか
すいたか？



弟子の前で
醜態を晒した？



王っ

お戻りに...

良い座
っておれ

それよりだ



何を言うか

しがついた...

ははははは！

クツ…
はっ



時臣イ…



お…王？



なるほど
なあ
魔術師とは
便利なものよ



貴様

記憶を
消したな？



身体はどうだ？



…え…？

千々…



何を…

良い良い
覚えておらぬ
のだからなあ
毎夜の悦楽は
お前の心を
焼いたか



その分だと
全て忘れた
ようだが…



っ











術式が定着する前に掘り返されてしまった

らや...

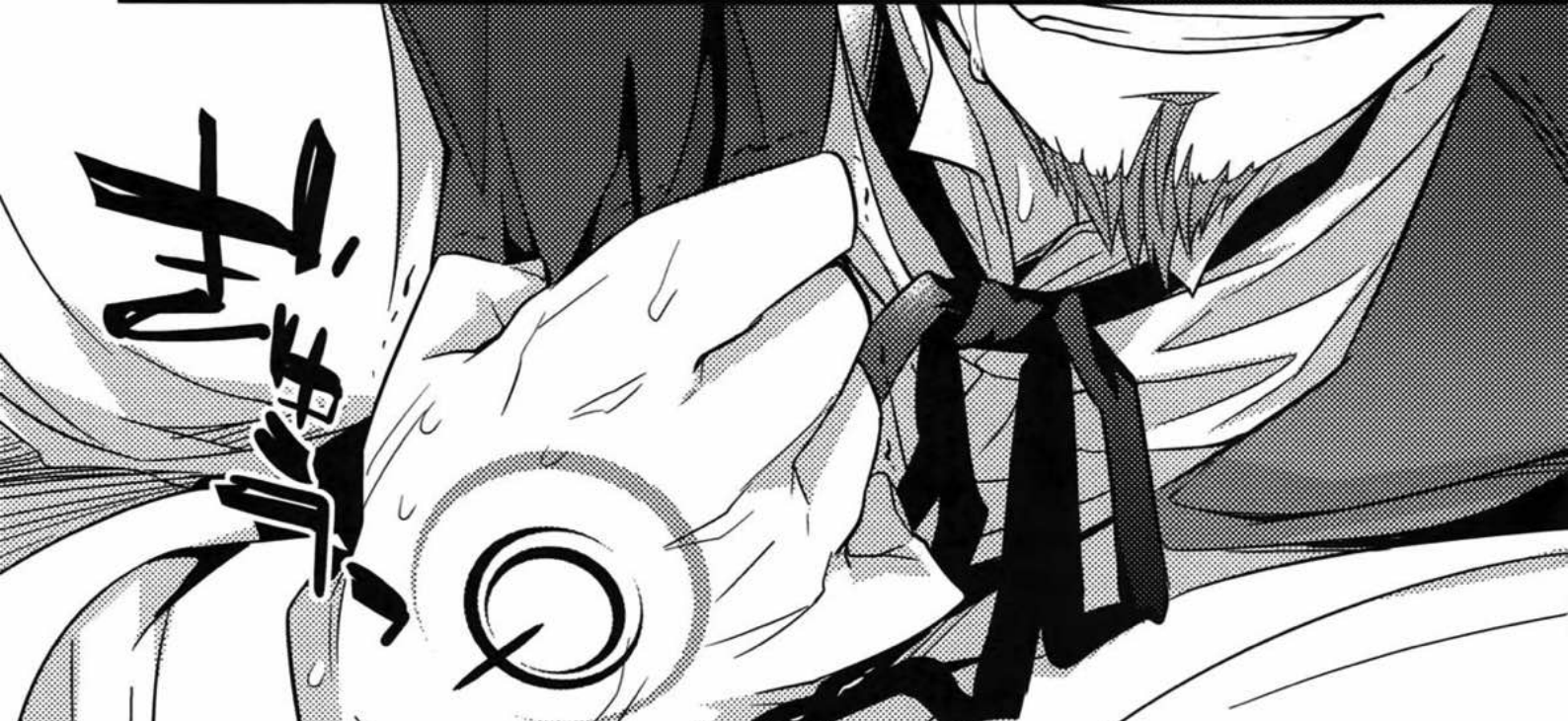


時臣

供をせよ



もう二度
忘れた所で
同じ事だろう

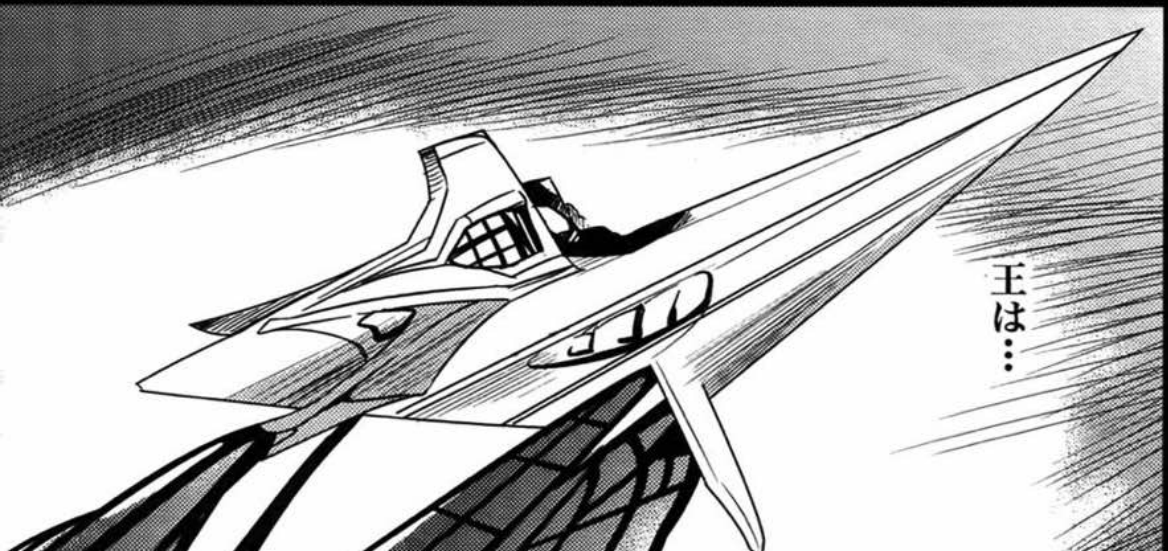


ア
ア
ア



ことさらに優しく触れるのだ
何か、他の意があるのかと紛うほどに

相互に快樂を
得なければ、
正しく魔力は
供給されない



王は…





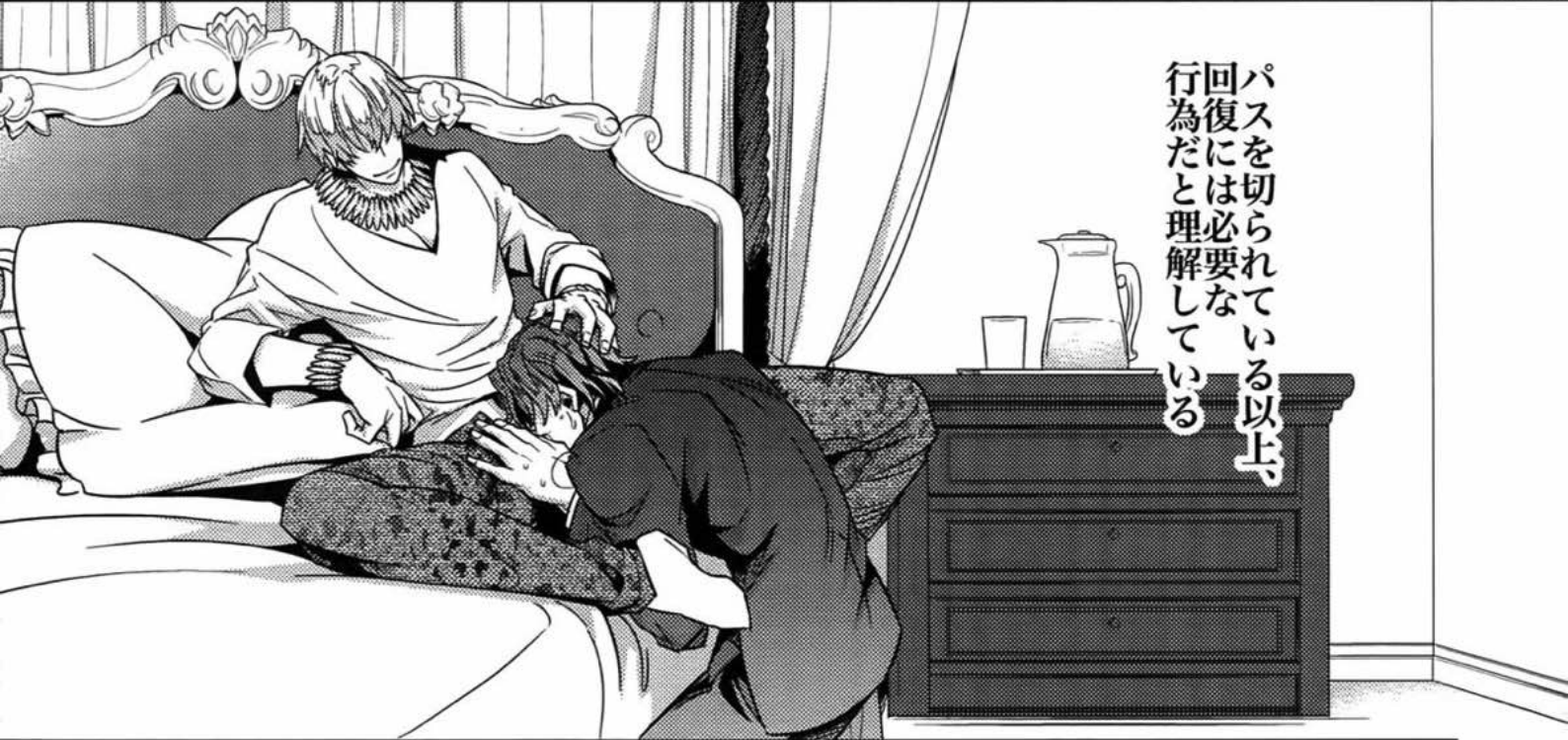
それを

知っている
のだろうか



それとも

今宵の戦いで
王はかなりの魔力を消耗された



パスを切られている以上、
回復には必要ない
行為だと理解している



しかし…

ふっ

うっ…

ああ…

たったこれだけで



この十を数えぬ
短い夜の間に、
私はおかしくな
ってしまっただのか



これで良い

え…？

やはり
今宵のお前は
些か以上に
許しがたい

最低限は
回復したは

あとはもう



抱く気にも
ならんわ





ではな…

何の真似だ

…時臣

あ…

これ、は

その

先…これより

戦いは更に
苛烈を極める
かと…

パスを繋いで
下さらない
のであれば

今以上の
体液交換が
必要で…



そう言うべき
であろう？



逆ではないのか？

体液交換しない
のであれば
パスを繋げ

と



あ…
うう

フ…
口がきけぬか？

時臣：
貴様が真に
望むなら

叫んでやらん
事もないぞ？

けれど

一族の悲願を

あつ

忘れたわけ
ではない

妻を、娘を、

愛している
事に代わり
はない



あっ
はっ

彼から与え
られるそれは

まるで暴力だ

あっ

ああ……っ

あっっ



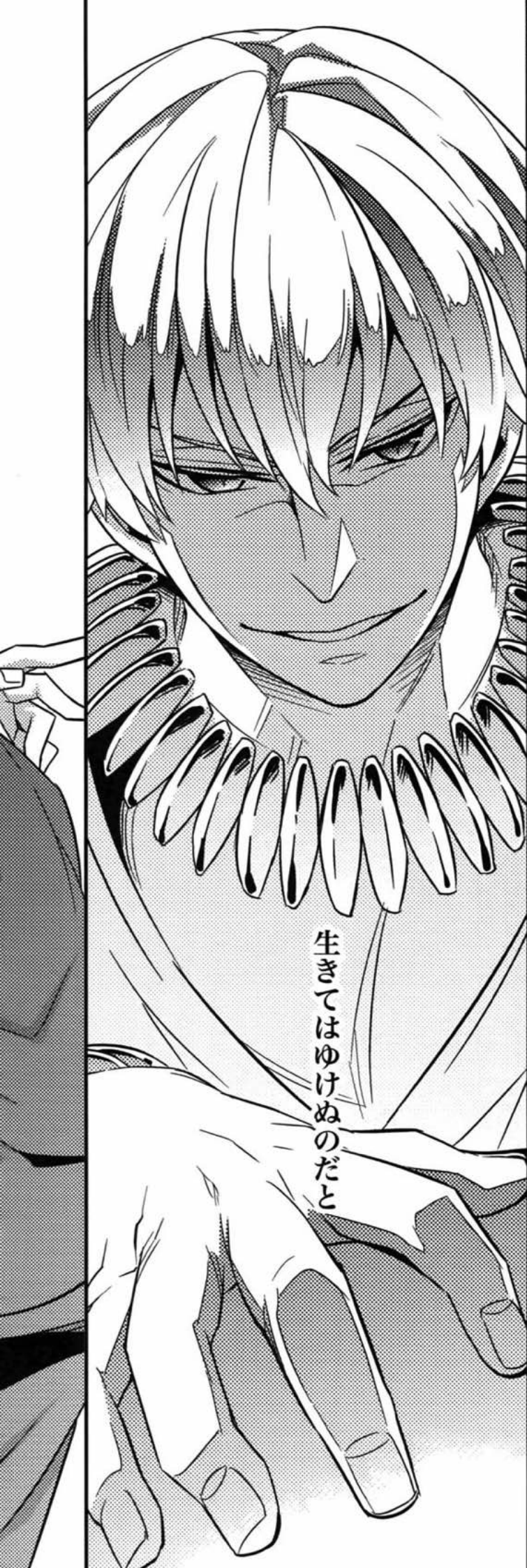
身体が一番奥深くに、
教えこまれてしまったのだから



抗える
はずがない

拒める
はずがない……

ガッ



生きてはゆけぬのだと



おう…の

お慈悲を…っ

この手を
うしなつては

もっ



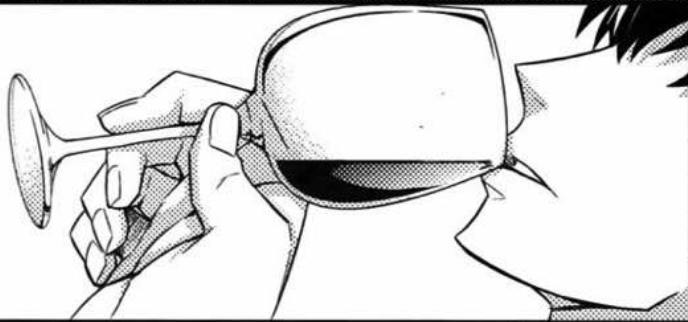
赦す



あっ

精神は肉体に
使役される

か…



分かって
いるのか？

ギルガメッシュ

お前の
している事は…





自らにも、
返りうる事なのだ

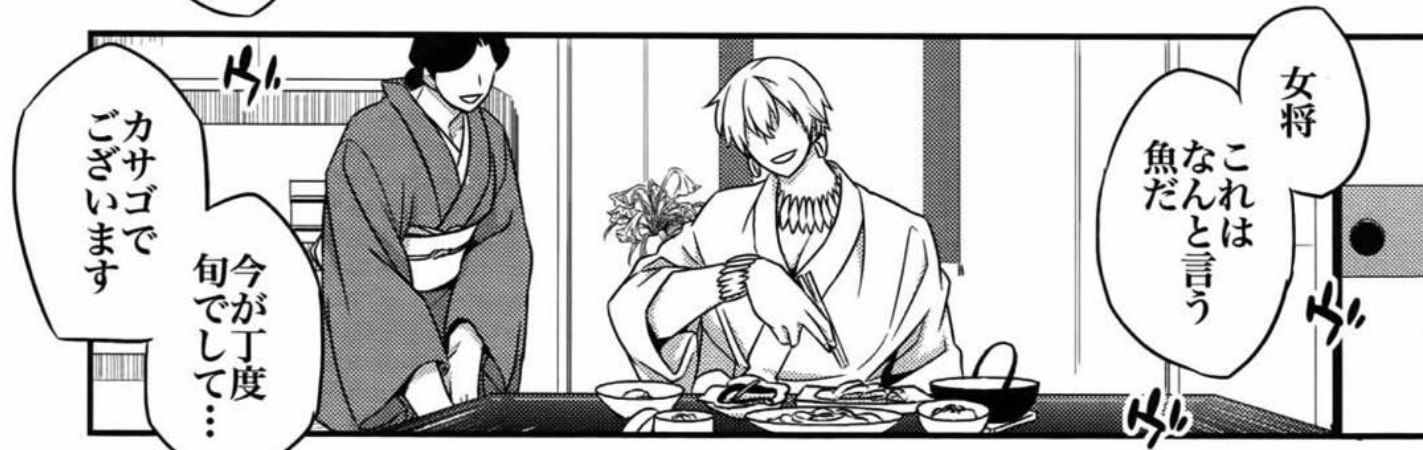


お戯れを！



でいかがお料理の方は

ああ
実に美味だ



女将
これは
なんと
言う
魚だ

今が丁度
旬です

カサゴで
ございます



お箸お上手
なんです

口うるさい
奴がいて

まあまあ

あら？
こちら様は...



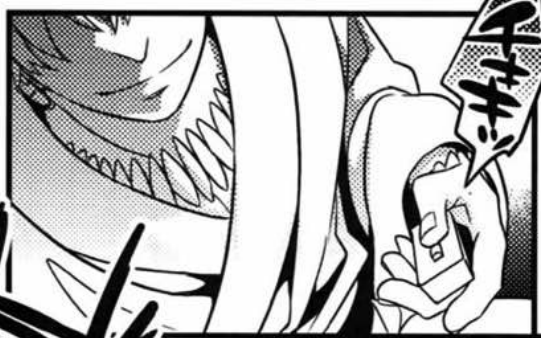
時臣



少し下げた
おきました
すみませんねえ
不調なようで
音ばかり
五月蠅くて

お返し
おまね

あ
ありがとうございます
……



ト
ト
ト



ト
ト
ト

ト
ト
ト



ト
ト
ト

お客様!?

ト
ト
ト



一度横に
なつた方が
良い
やもしれん
ない

女将よ



まあ…
確かに



ただの
湯あたり
だろう
放ってお
け

ですが…



済んだ折には
呼びかける
故…

しばらく
下がって
参れ



この玩具のせいだったか?



なんだ



あつ おっう



今ので果てると思っただが 淫蕩なお前には...

む?







う...う



わたしの

なか



おう
が



入っっ...

ぜんぶ



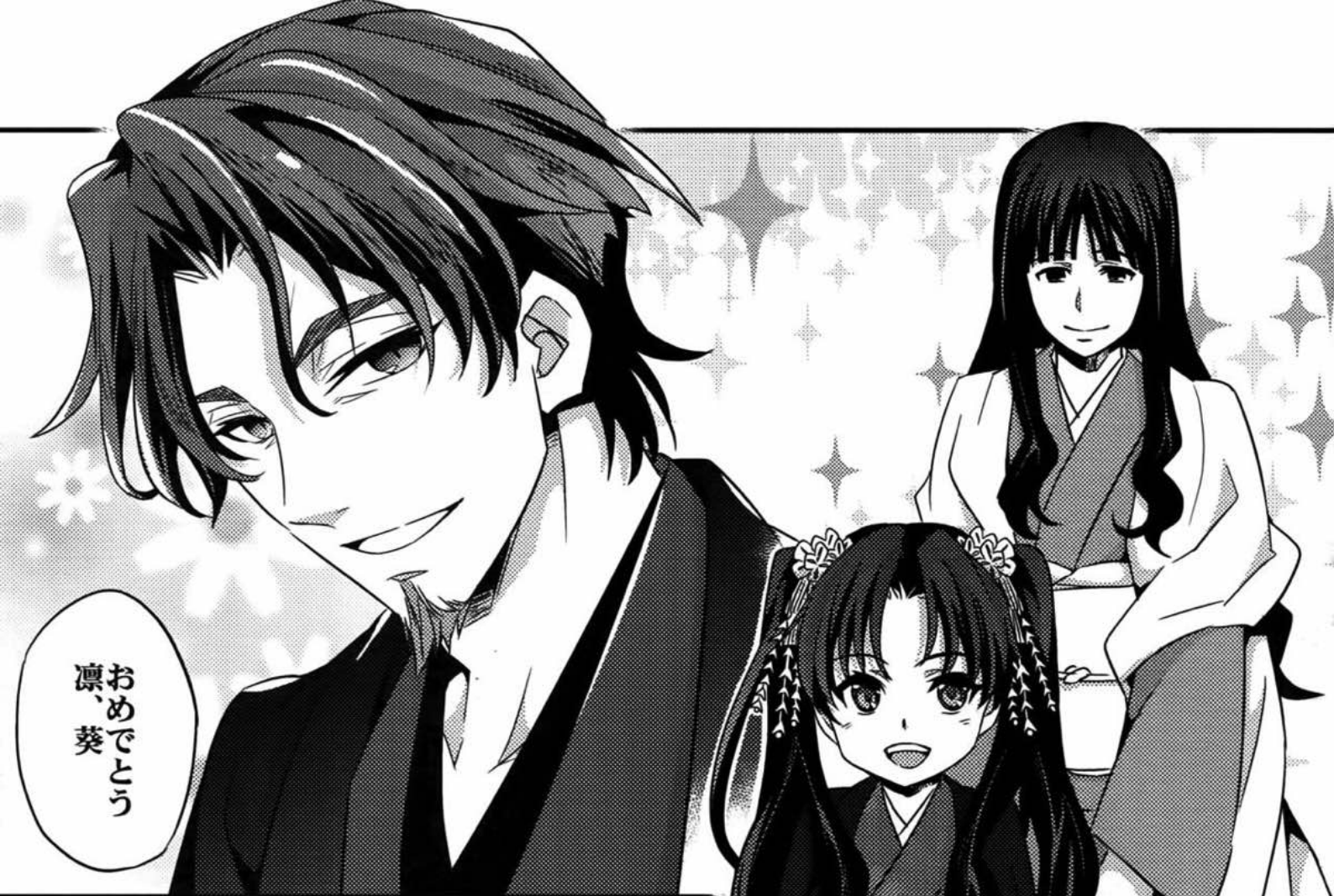
我までのほせて
しまいそうだ







嬉始のYEAAAAH!!!

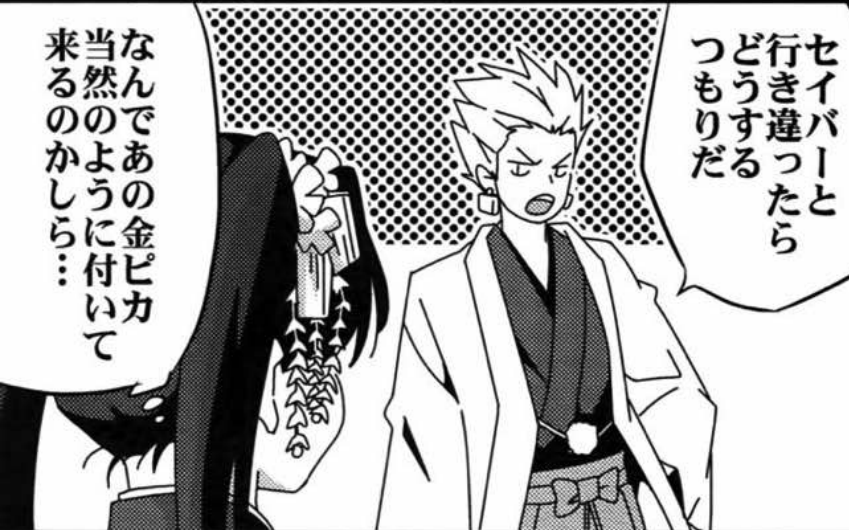


おめでとう
凛、葵



はい！
おい
早くしろ！

神社は混む
だからから
はぐれないよう
注意するのだよ



なんであの金ピカ
当然のようについで
来るのかしら…

セイバーと
行き違ったら
どうする
つもりだ



あけまして
おめでとう
ございます
お父様！

聖杯戦争が
無期限中止の為
私達もお父様の
元に戻り
今まで通り
+αの毎日を
過ごす中…

迎えた
お正月

家族？みんな
初詣に来ました

我が
神は
祈る

ア
ア



新年の祝いだ
かんざしを
遣わずぞ時臣イ！

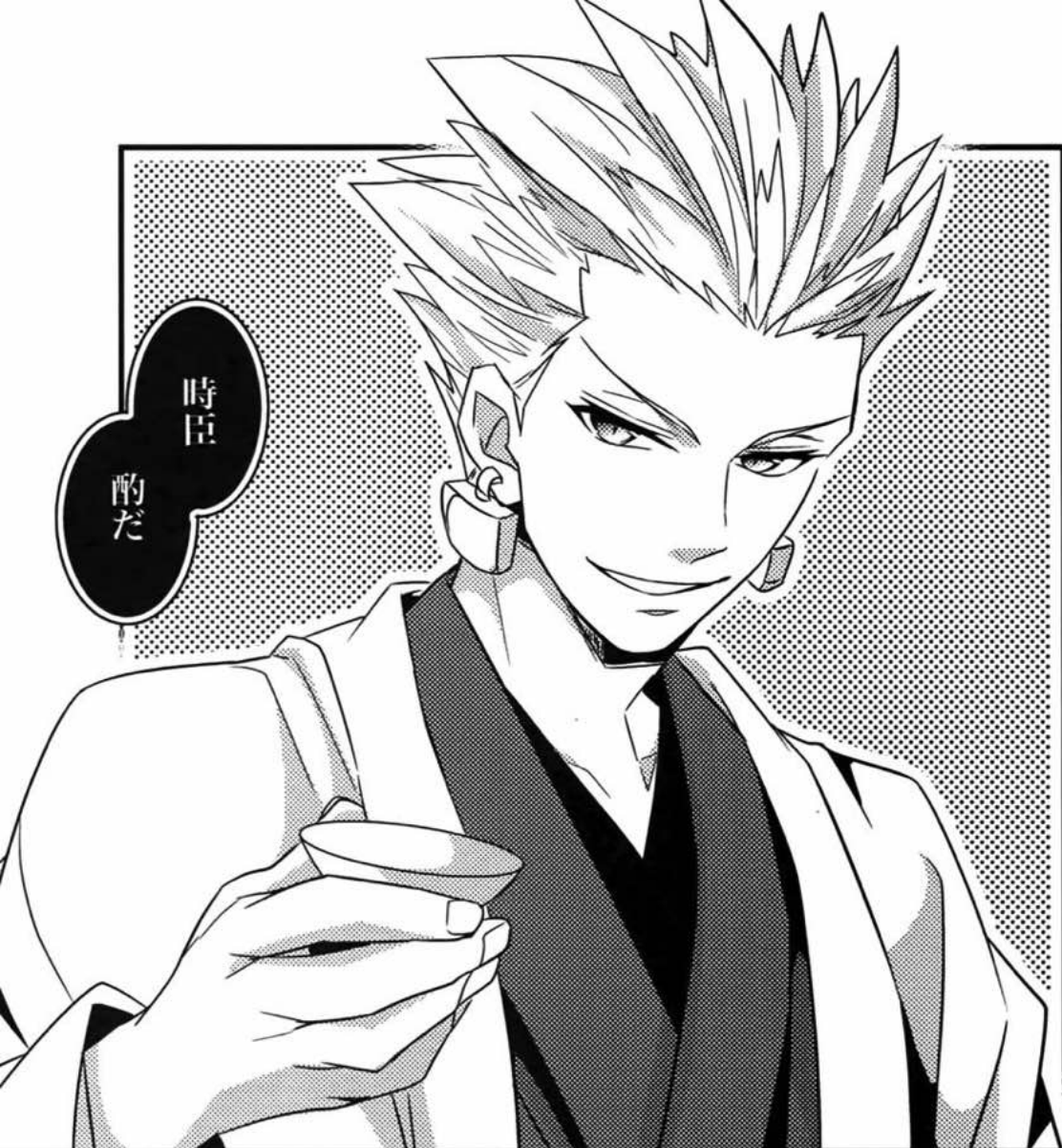
え？あ

はあ…

なんで男に
かんざしなのよ

「かんざし」
「かんざし」





時臣
酌だ



初詣後は料亭で
会席を頂くのが
遠坂家のコースです
定番コースです



お口に合えば
よろしい
のですがい

うむ
悪くない

なんで堂々と
上座に座って
あまつさえ
お父様にお酌
させてるのよっ



もうらめれす
おうよお...

武蔵野

まだまだ
これからだぞ
時臣イ!



私の酒がもう
飲めぬだとい!

こ、この後
禅城の家に
年始の挨拶が...



ありがとうございます
ございます

貴様も飲め



そして...

ふん

あらまあ

ん



よろしいの
のですか？

えっ

こやつのお面倒は
我が親が看取す故
お前達二人で
行くが良い



この様子では
年始の挨拶など
とても無理
そうですね

まったく
ない奴よ

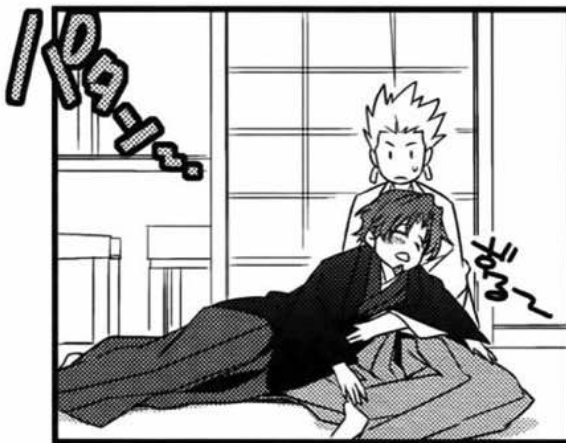
おん



我とて放置
するほどは
無慈悲では
ないわ

では
お言葉に
甘えて...

おん





ん

ん…

フワフワする

帰るぞ…
時臣

凛の前で…
優雅でいなくて
いけないのに

でも気持ち
よくて…

ひどく
気持ちが
よくて

え…

き…き…き…

お…じ…っ…

起きたか



ナニって...

にやにをして
いるのれすか

.....

姫始めだな



トーン
ズン



王の中の王が
睡眠強姦の
まねごとなど

し、仕方なからう
凛と葵が戻つて
以来無沙汰なのだ



やたら
飲ませると
おもえば...



ああこら
服を正す
でない!

おん

ニ
ニ



お前の家族
ではないのだ



お前にもせねば

お前に触れる
口実が作れぬ

我は





私だって…

何だ

……



時お…っ
早くしないと

ドキドキ

二人が帰って
来てしまいます



もう
止まらぬぞ

止めませんよ



貴様が眠って
いる間に散々
慣らしたからな

柔らかく
我を受け入れ
ているぞ

言…わな

お前は根元まで
突き入れて

そら

ひっ…

ぐるりと
回されると
好みだったのが

ここまで
届いているのが
分かるか？

あっ

うあ

あっ

やあおし…

ああ〜っ





何だもう
限界か

や...ら
まら
いきたくな

...きたくな

何を耐える
必要がある

ん...ん...



御身に

触れたかったまっ



終わらせたくなくて...



わたしだって
ずっと



わたしだって
ずっと



——そう煽られて

終わらせられる
わけがなからう



ただいま
戻りました！

お加減大丈夫
ですか？

とんだ
姿を見せて
しまったね

禅城の家には
失礼な事をしたから
改めて伺わないと

金ピカ！全部
あなたのせい
なんだからね！

こら、凛



金ピカ

なんだ

あんたこれから
ずつとうちに
いるつもり？

.....

お前には業腹
だろうがな





遠坂家の
年中行事の
なんだから！

じゃ
次はあんたも
一緒に行くのよ



良いわね!?



ハッ

我に
命令とは
大きく
出たなあ

フン!



そんなわけで

遠坂家は
今日もみんな
仲良しです



対魔力でございますから



おい

んっ

く...

ふ

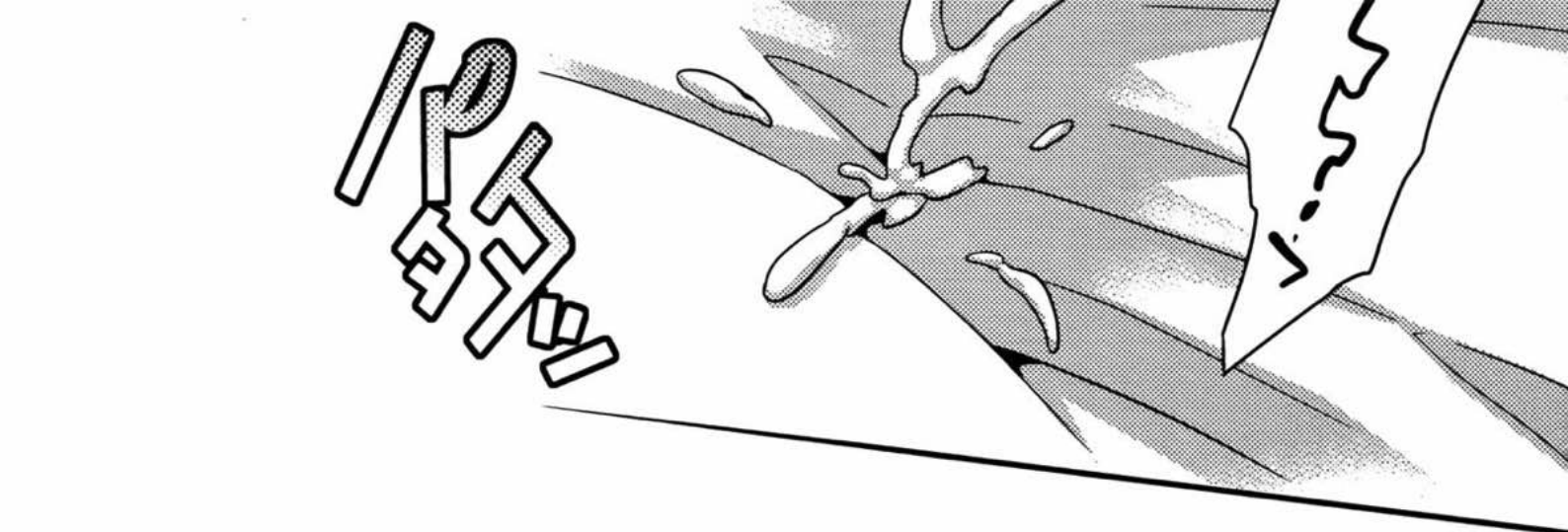
っ...
んん

声を抑えるな

っ



1P
10
10



4x30
110
4



まったく...

時臣の奴め



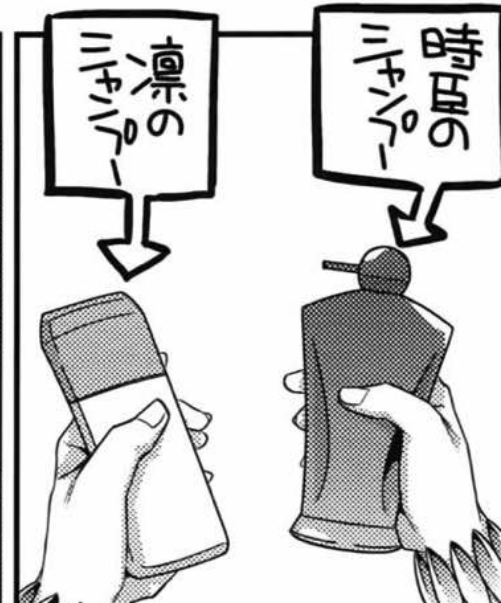
それでも...



耐える姿も
まあ愛いが...

ああも
強情
なのはな

かめやん
かめやん
かめやん
かめやん









しゃっ
りしやわなっ

ゴゴゴ

なんりや
これりや

痛くすくすくたくて
ビリビリ
ぞわぞわするっ



ううう...
うん...

もしや...凛の
シヤンプーを
使ったのですか？



王が
おかしい

英霊クラスに
なればそれほど
大きな影響を
及ぼさない物
なのですが...

女魔術師は
髪に魔力を
貯めるので
特別に調合
された
整髪料を
使うのです

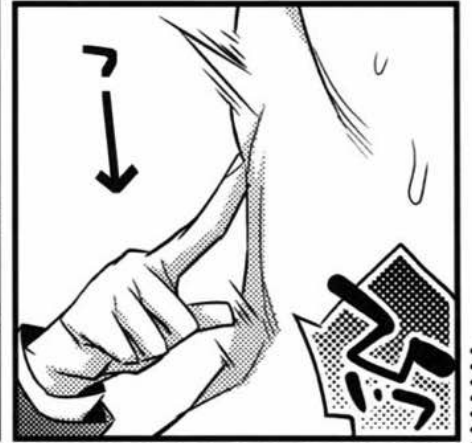


ランクC
ですから...



王の
対魔力は

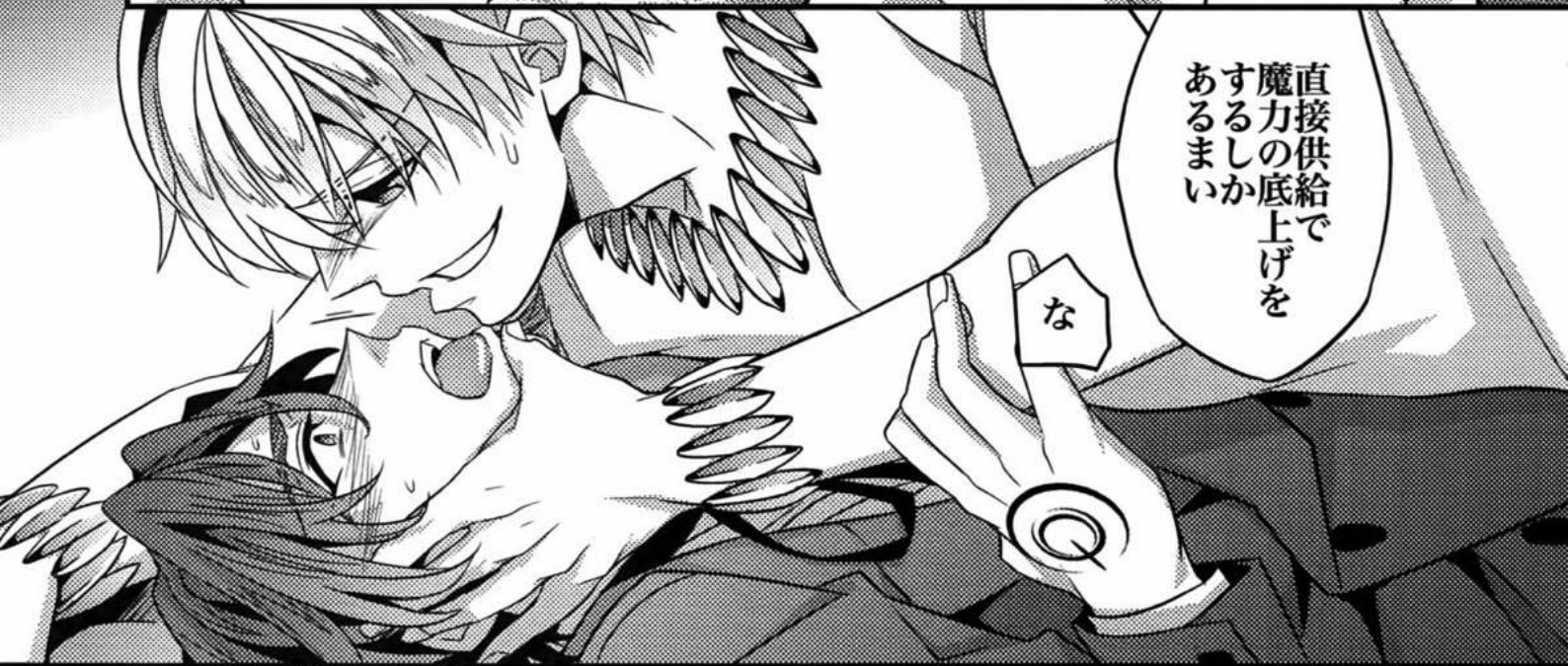
私の魔力量
もってしても...





我が魔力に
対する問題がある
と言おうならば…

ない気に…
なるなよっ

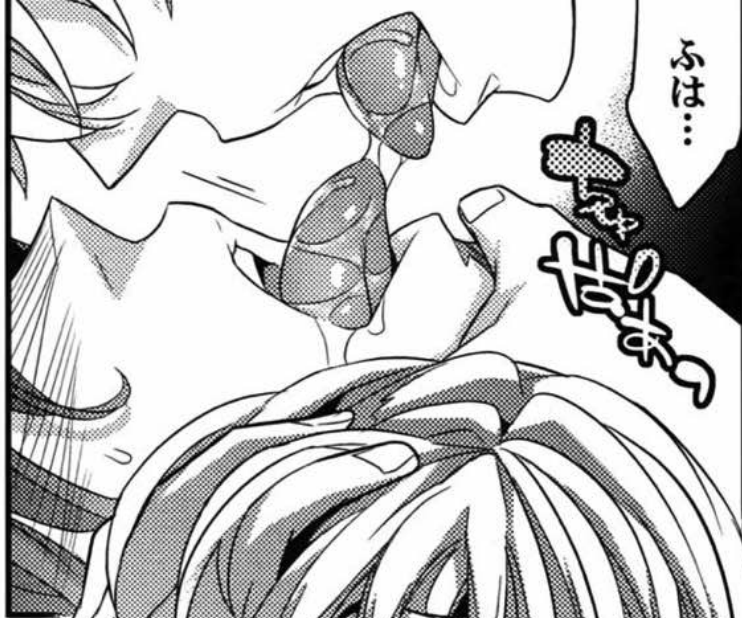


直接供給で
魔力の底上げを
するしかない
あるまいか

な



っん



ふむ：
どうやら
中和されて
効果がな
変わった



貴様も
味わって
みるがい

っ
その私に
の程度

効果など
あるわけ...

きっ







はやく

おう

バカバカ

はやくう...

何をだ?



ハッキリ
言わねば

分からぬぞ

んんん

あ...

ル

ホホ

あ...
あ

んんん

んんん



うん?

んんん



王に...

御身に...

く...だき...

ほ...

き...

び...



あ
うあ

ぬ
ぬ

あ

ぬ

あ

あ
ああ

あ

あ

あ

あ

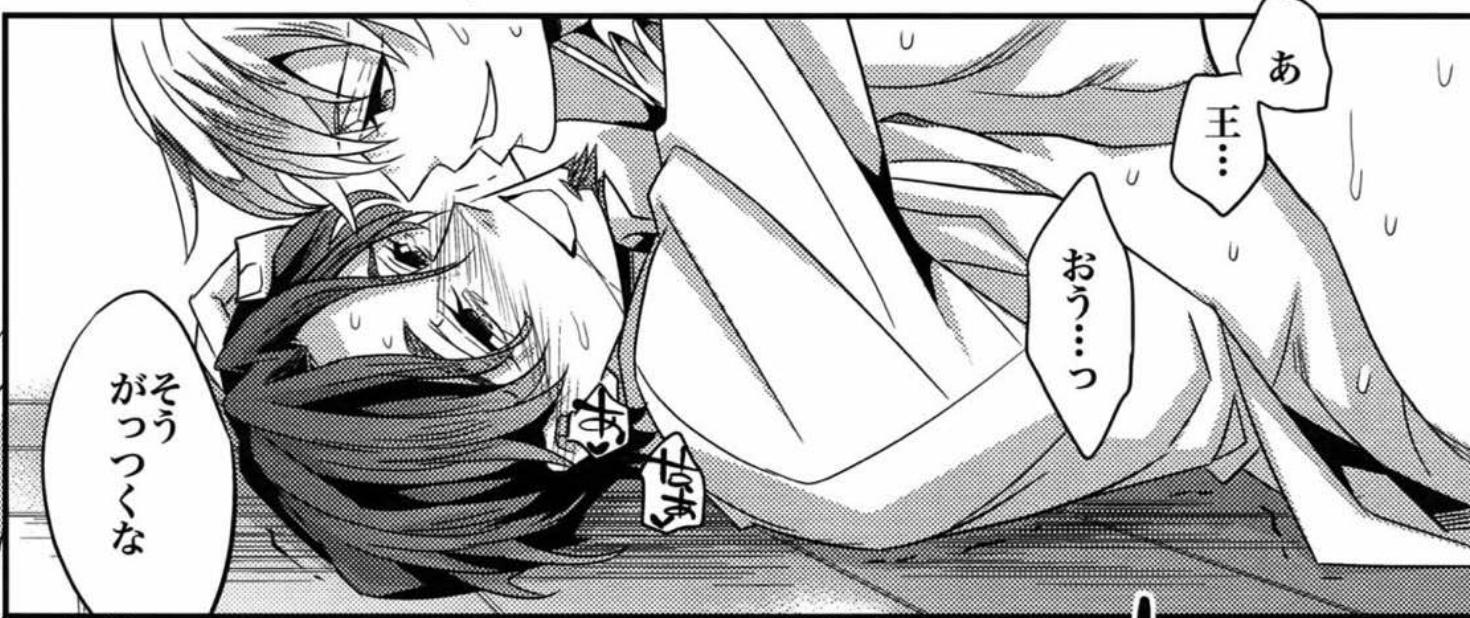
あ

あ

あ

あ

あ





いつもこう
素直であれ
愛いものをな

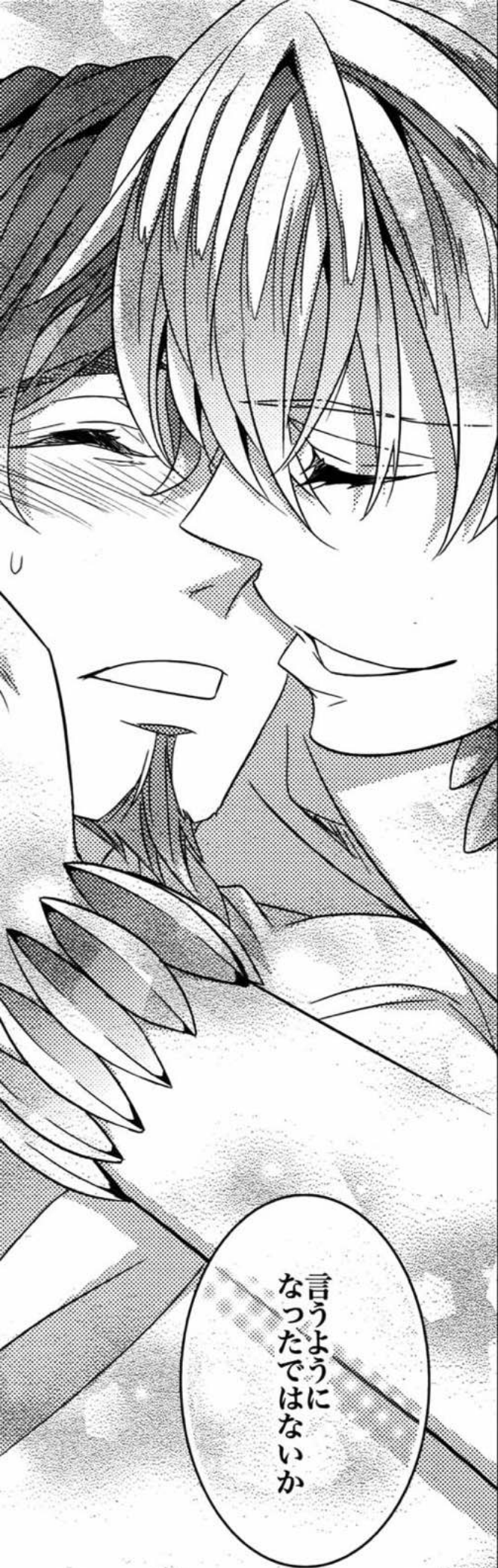


—
で

いい加減
機嫌を直せ

ひびひび

きんきん



言うように
なつたではないか



まったく...

はっ

薬マズ
すぎて

クム

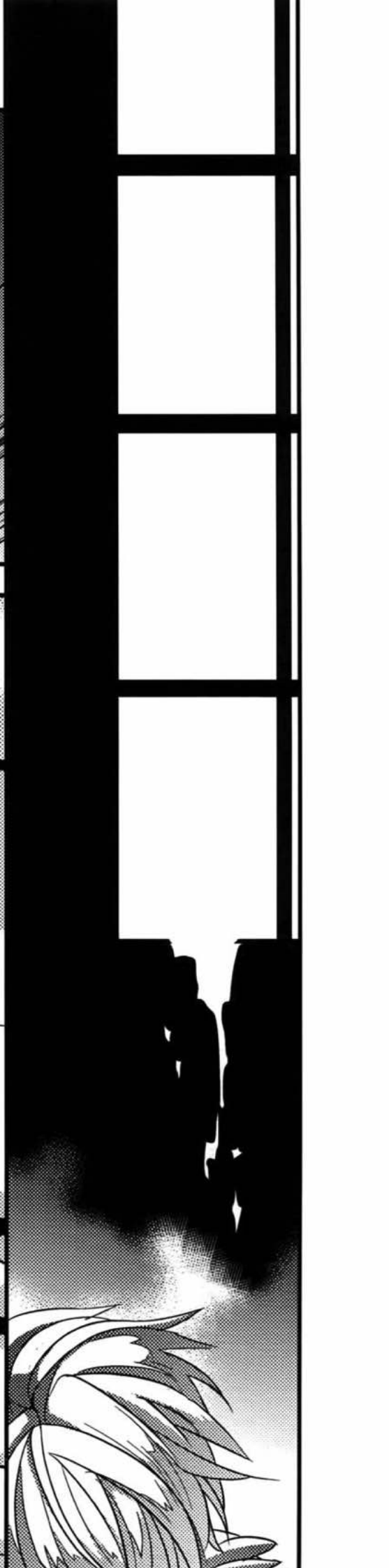
口移し
無理でした

ニヤ



貴様の寝てる間に







時臣は、一度眠ると朝まで目覚めない





コロンは
ない方が
良い



やはり...



この男の全てが
心地良いのは



経路^{パス}の影響
なのだろうか



持

持

持



心

心

心

心

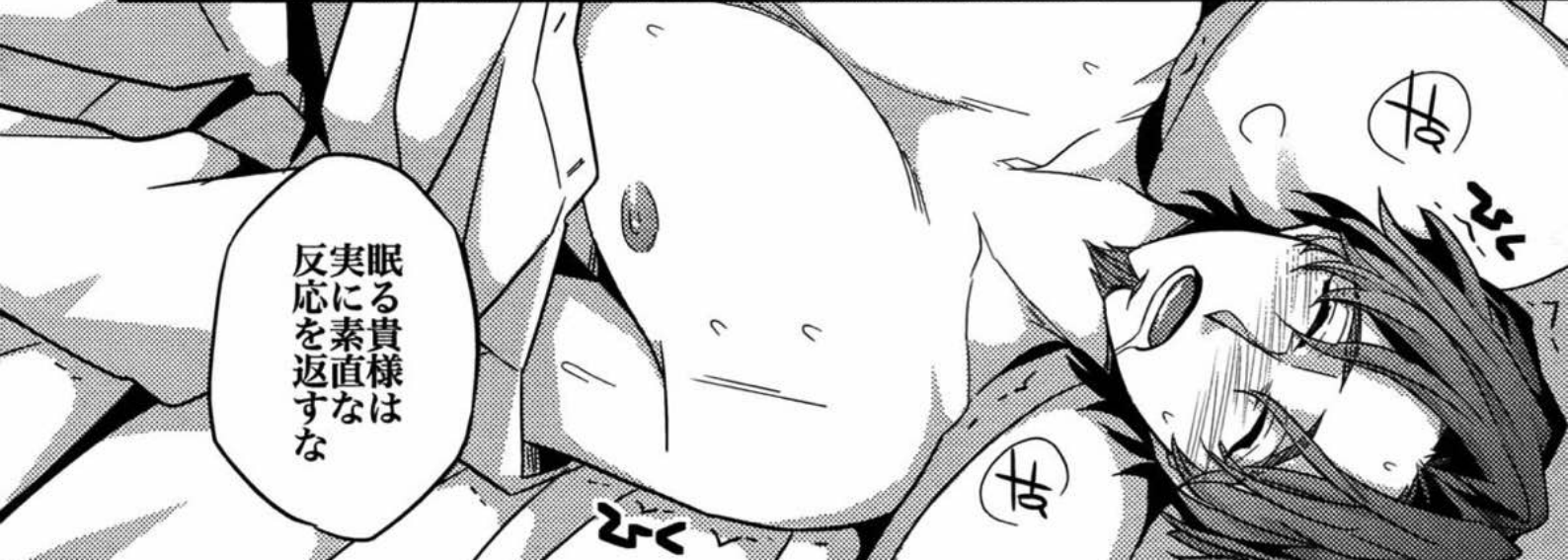
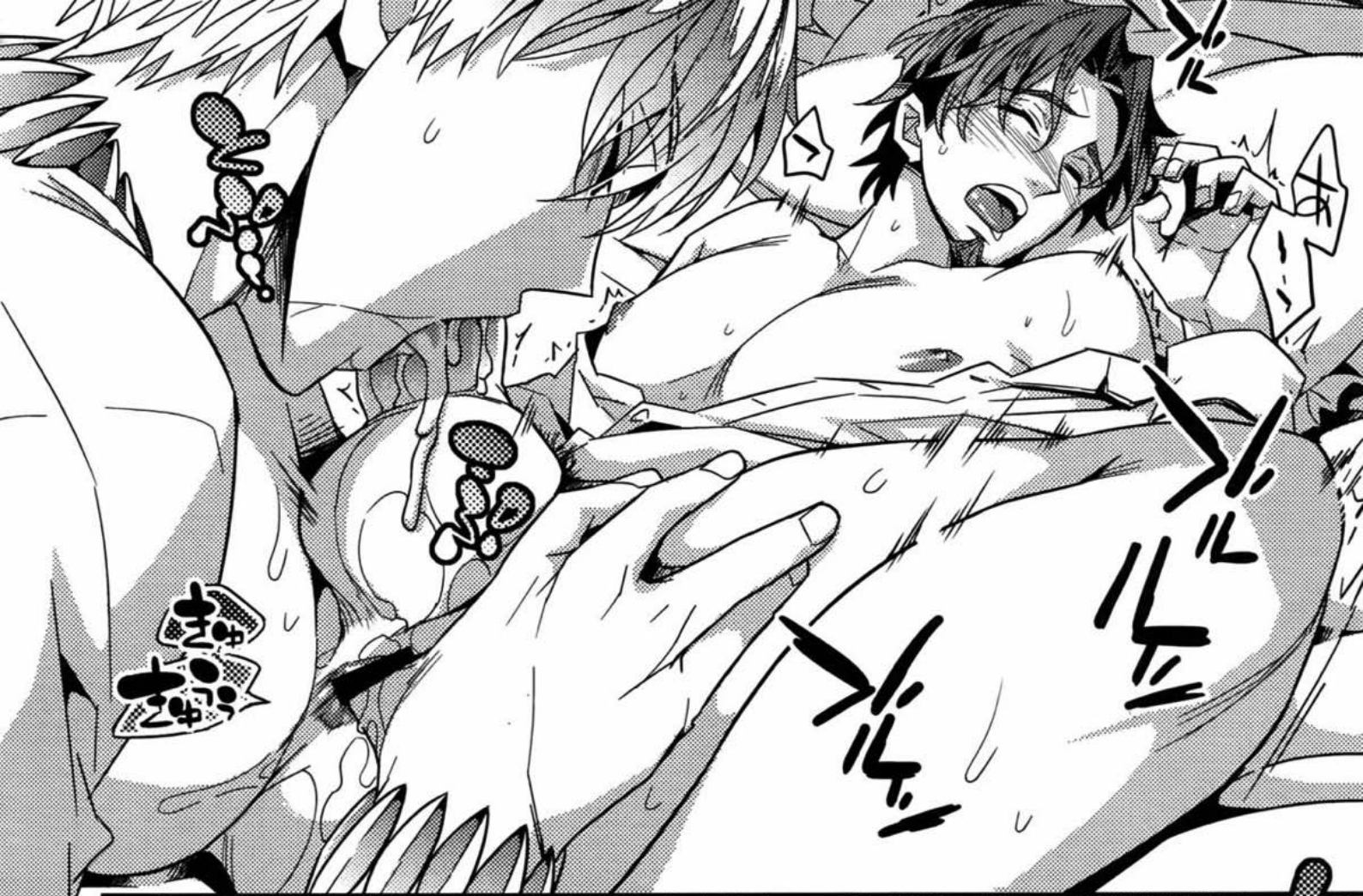
心

心

心



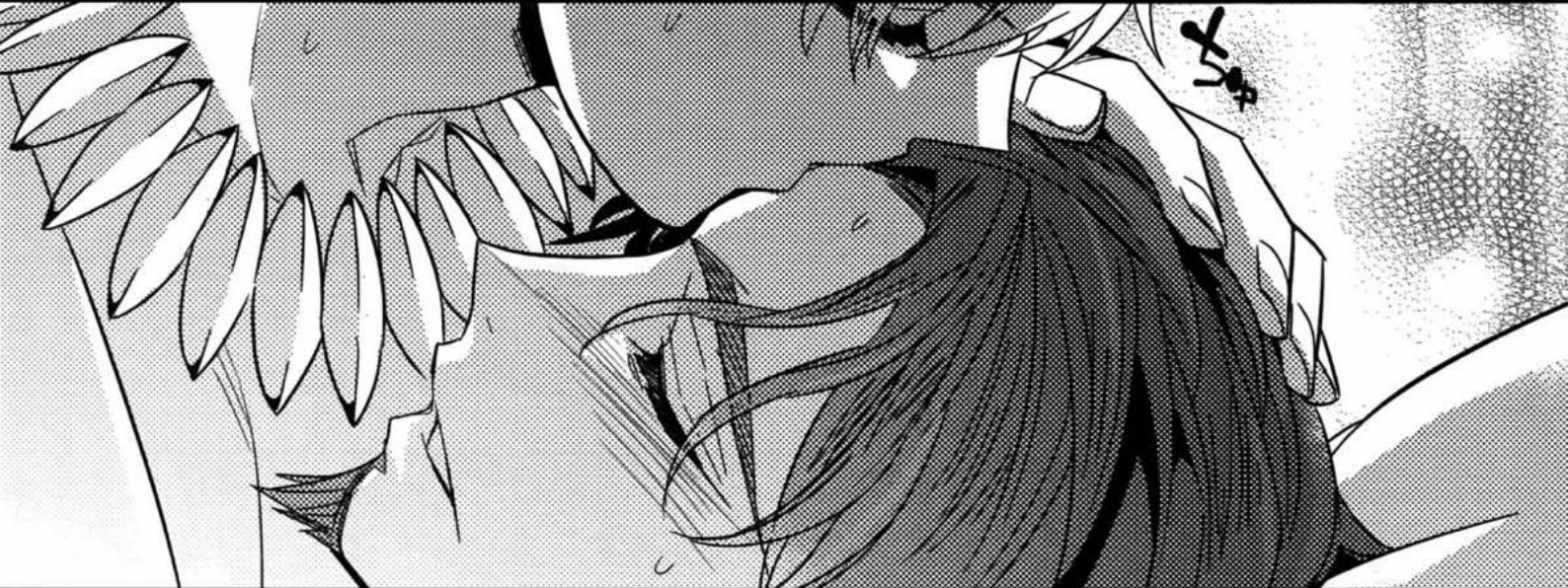






まだ物足りぬ
ようだが…

このままするほど
我も鬼では
ないのでな



よく休めよ
時臣



昨夜は…



食事を採る
必要がない



無駄こそが
愉しい





…可能な
でしたら



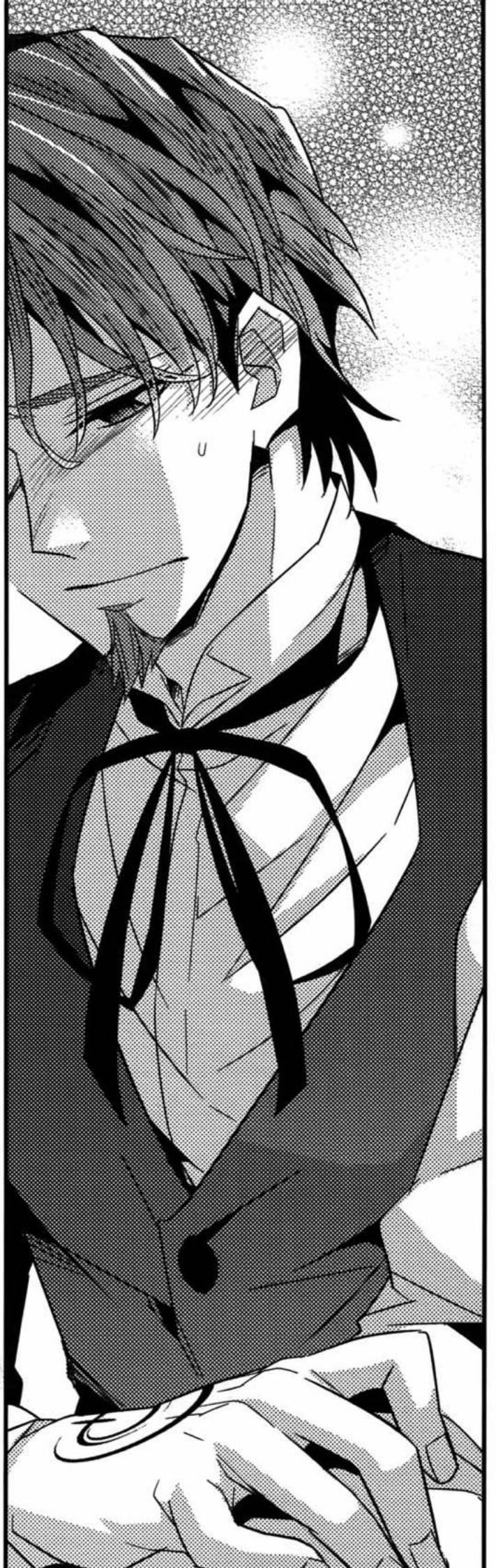
そうだな



今夜は
お早く
お戻り
頂けると…



覚えておこうか





せつかく
お前からの誘い
だったのだからな



トク

本当に早く戻る
つもりだったのだ



面倒な男に捕まって
時間をとられたのは
私の失態だった

だが…

まあ…



まさかまた
眠っているとは
思わなかったぞ

おし...
どうしたのか



漏らして
おる…





だ…からと
言つて
こんなつ

眠つて
いる間に…

なぞ…っ



あっ

仕方
なからう



眠るお前が
あまりに
可愛くてな

ば…かな



寝ながら
軽いキして
いたからな...

私も限界だ

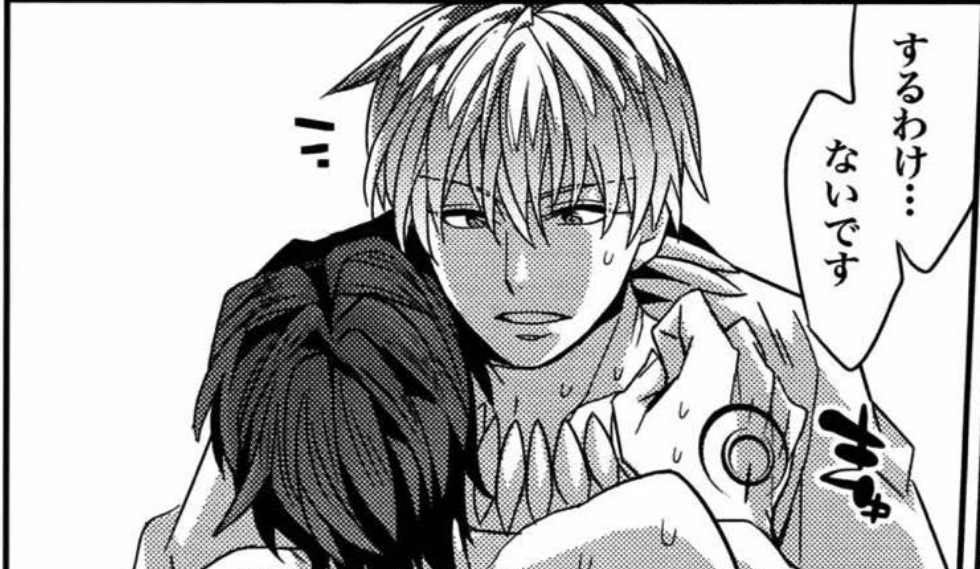


だ...めっ
ぐりぐりっ

だめ...っ

存分に
果てるが
良い







まったく...



御身で
なければ

足りない

とんだ
眠り姫も
いたものだ

その後――

起きて
ますよ

お母さん
お母さん

綺礼ちゃんが見てる



失礼します

時臣師

ゴッゴッ

カッ
カッ
カッ
カッ
カッ

イヤッ

あ
き

綺
礼

ハッ

どうした
んだい突然

……
……
お伺いすると
お伝えしたと
思うのですが

あ……そ

そうか
そうだったね





うっかり
していたよ

師とこの
サーヴァントが
他に悟られ
ないようにと
耽つている
二人の秘め事



それが何かを
知っている

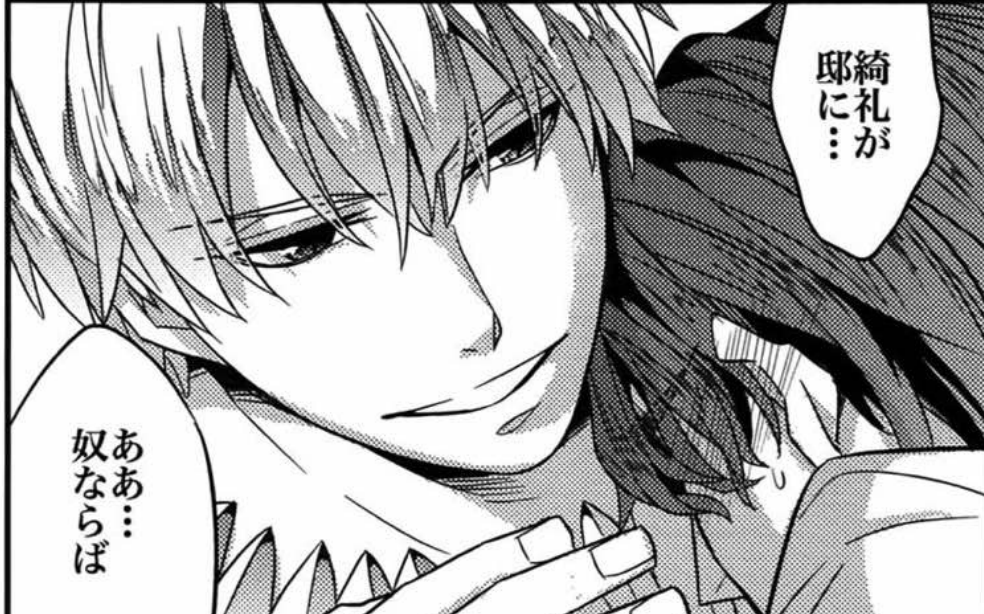
は...ん

は

ん...
ん...
ん...

あ

ん...
ん...





先ほどから
そこにいるぞ



こんな状況で
聞けるわけが
ないだろうが

他陣営の
動向について
報告がある
だけですから

よしよし



ききき綺礼
いつから
そこに!?

ああどうぞ
私の事は
気にさらさ
ず続けて下
さい

気にするよ!?



とにかく
一度外に...

えっ

王が…
私の中に…っ

きれ…が
あ

ご安心下さい
師よ

や
あ

あ

き

ぬ…抜かな
ければ…

あ
あ

このまま
続けられては
たまらない

こんな…

そ…んな
わけ…っ

はみっ

この程度
魔術師としては
至極当然の事…
そうであろう？
時臣よ





だがな
時臣



なんだ随分
積極的だな
綺礼に見られて
興奮したか？

ちが...
ちがっ



まずは綺礼の
報告が先
であろう？

や...う

確かに
アーチャーの
言う通りですね

やめ…っ
こんな
王っ

ではアサシン
より受けた
各陣営の報告を



綺礼…っ

ああ…

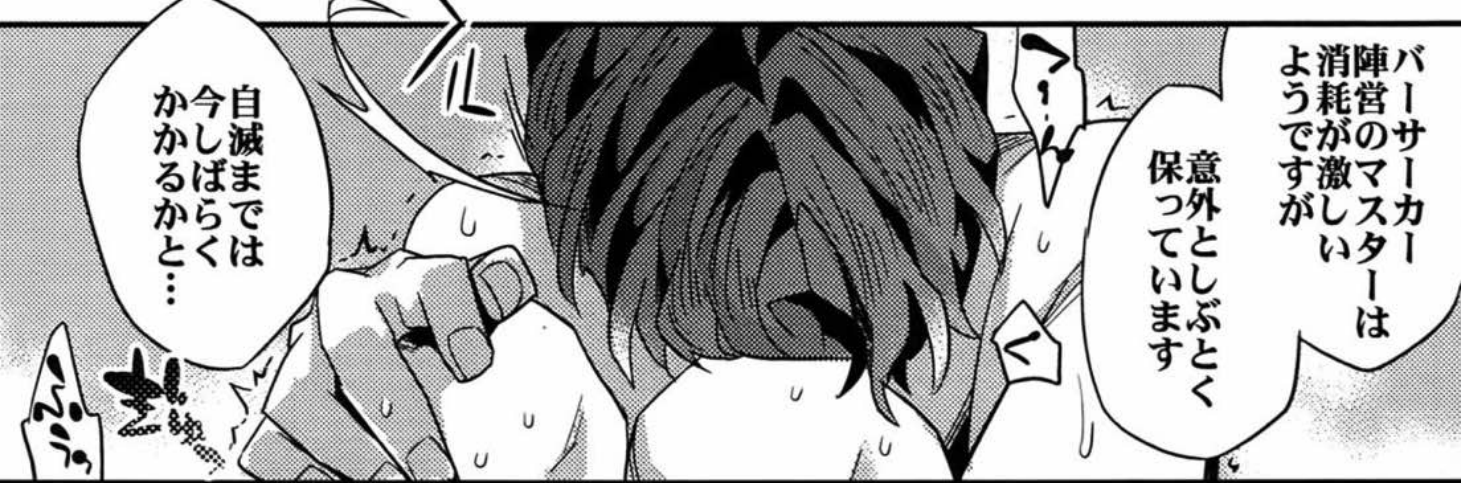
大人しく
聞いてやろう
ではないか





次にライダー陣営ですが

相変わらずマッペンジ一家に潜伏してあるように見られた動きは



バーサーカー陣営のマスターは消耗が激しいようだが

意外としぶとく保っています

自滅までは今しばらくかかるかと…



それから…

時臣師？

お...
う

も...もう

もっ...

なんだ?
綺礼の報告が
まだ終わって
おらぬぞ?

そ...んなの
も

おま

い...からあ

いま...すぐ
綺礼の見てる
まえ...でえ

おもいきり

突き上げて
くらさい

おま





時臣師



今の…
魔術師として

師として
あるまじき
貴方の姿は…



あ…き
きれえ



師よ…



度し難い
ほどに醜悪で
胸が躍る

師の勇姿

この目にしかと
焼き付けて
おきます



おいおい
他の男の
名を呼ぶとは
どういう見だ？

ああ…あつ

て視
られる



綺礼に

わたしの

視られている…っ

師として
恥ずべき姿を

すべて





フ…
満たされたぞ

アハハ

ふぁ…
お…う

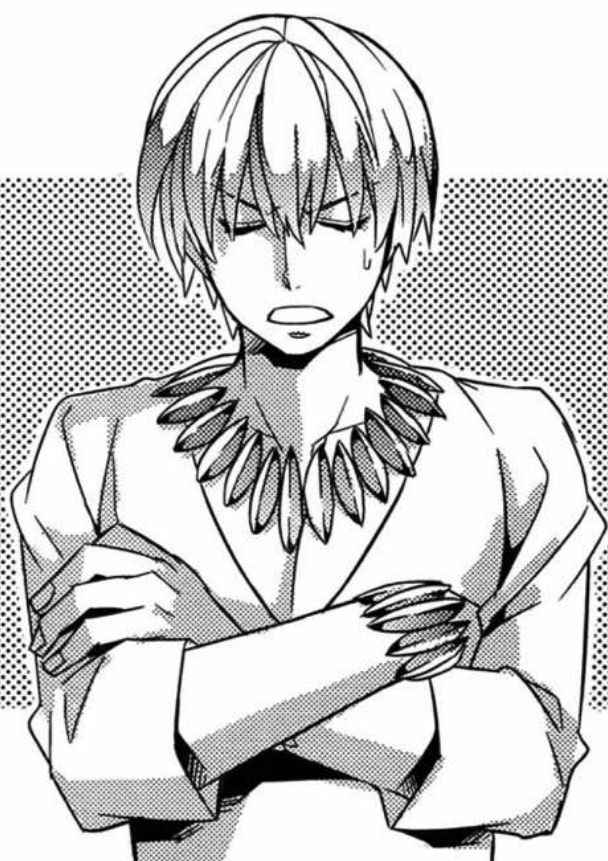
ん…
王

ん

んふ…ん

ん…

ト
ア



まあ…その
なんだ



ぜえりりったいに
許じません

我が
悪かった



我が悪かった
もう二度と
しないからな？

な？

う~~~~

おほおほ



あんな姿を弟子に
見られるなんて...
未代までの恥だ

だが最後は
お前もノリノリ

出てって
ください！

ごめん



そんな適当に
謝ったって
ゆ...

許しま
せんから
ねっ

分かつた
分かつた

ですからっ

おほおほ

おほおほ



うん？



あ…



も…ん

んん
ん

ん…



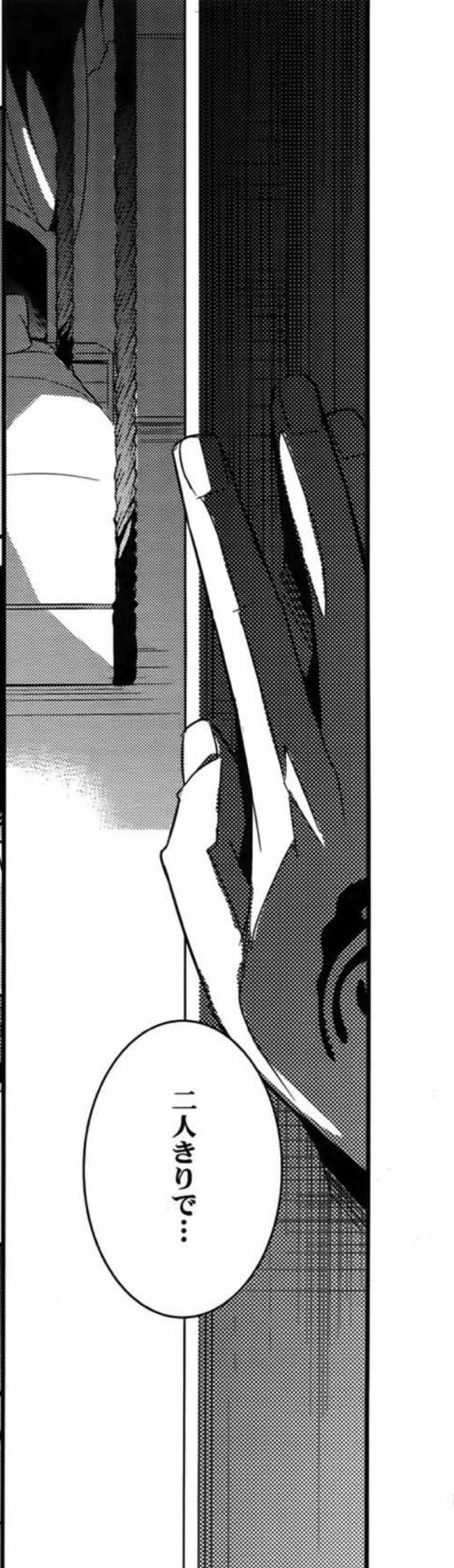
ん
そうだな

二人っきりで
してくれなきゃ
許しません



せし

も
もう一度



二人きりで…



それは、ふたりの秘め事



Contribution



泳がない
のですか？

サシ確が
洋し(ウツ)
この(ウツ)

ああ…



時臣師

千早…



千早

千早

千早

千早

私は十分
楽しんでるよ

君もたまには
羽根を
伸ばさないと



ねっ

千早

ありがとう
綺礼

しかし私の事は
気にせず
楽しんで欲しい

ですが…



お前の首を
お前の首を

貴様も羽根を
伸ばせ時臣イ

我が首を
我が首を



時臣師



お心遣い痛み入ります

ドホッ
ドホッ

ズン

ごき



結局満喫しました



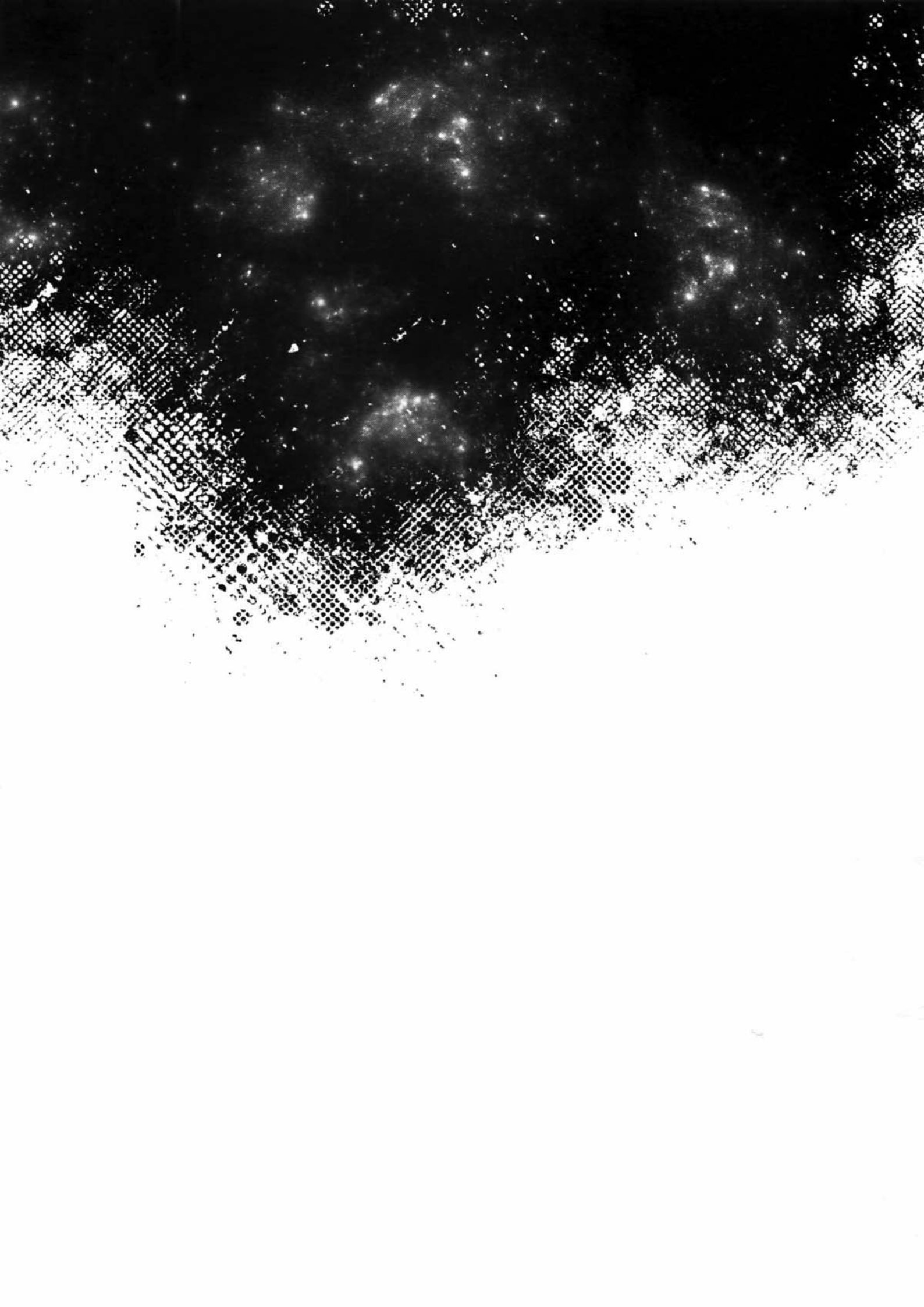
着ないよ?

ズン

ズン

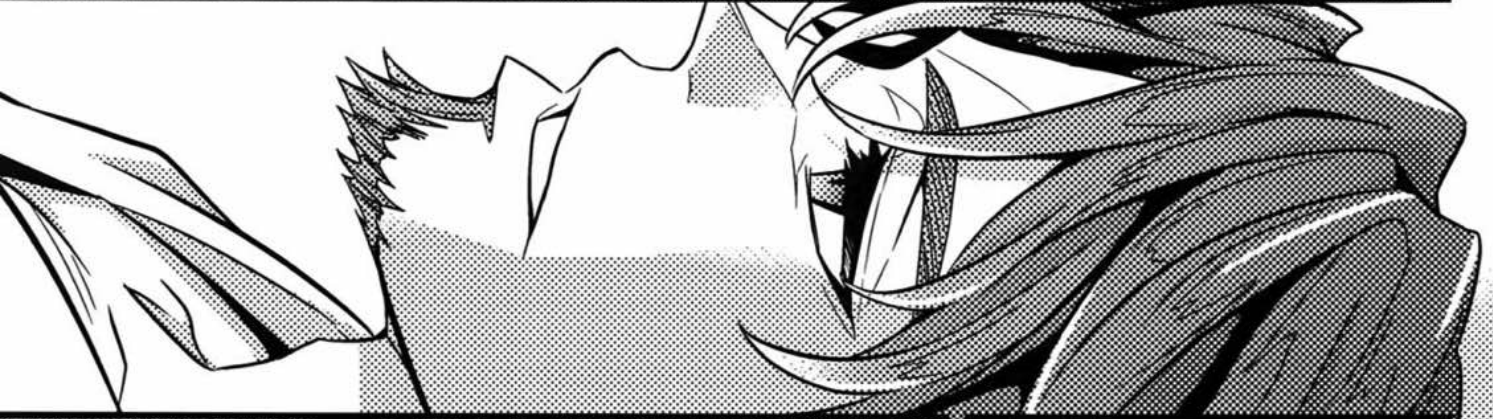
ズン

お前の首を
お前の首を





貴様は本当に
つまらんな



彼に――



彼に会う日は
決まって同じ
夢を見る



まただ…



こんなに足を
開いて優雅
じゃない…

ギルガメッシュに
会う日は――



集中して
るなあ



しかし良いの
だろうか



綺礼の…
息子と

恋人関係
なんて――

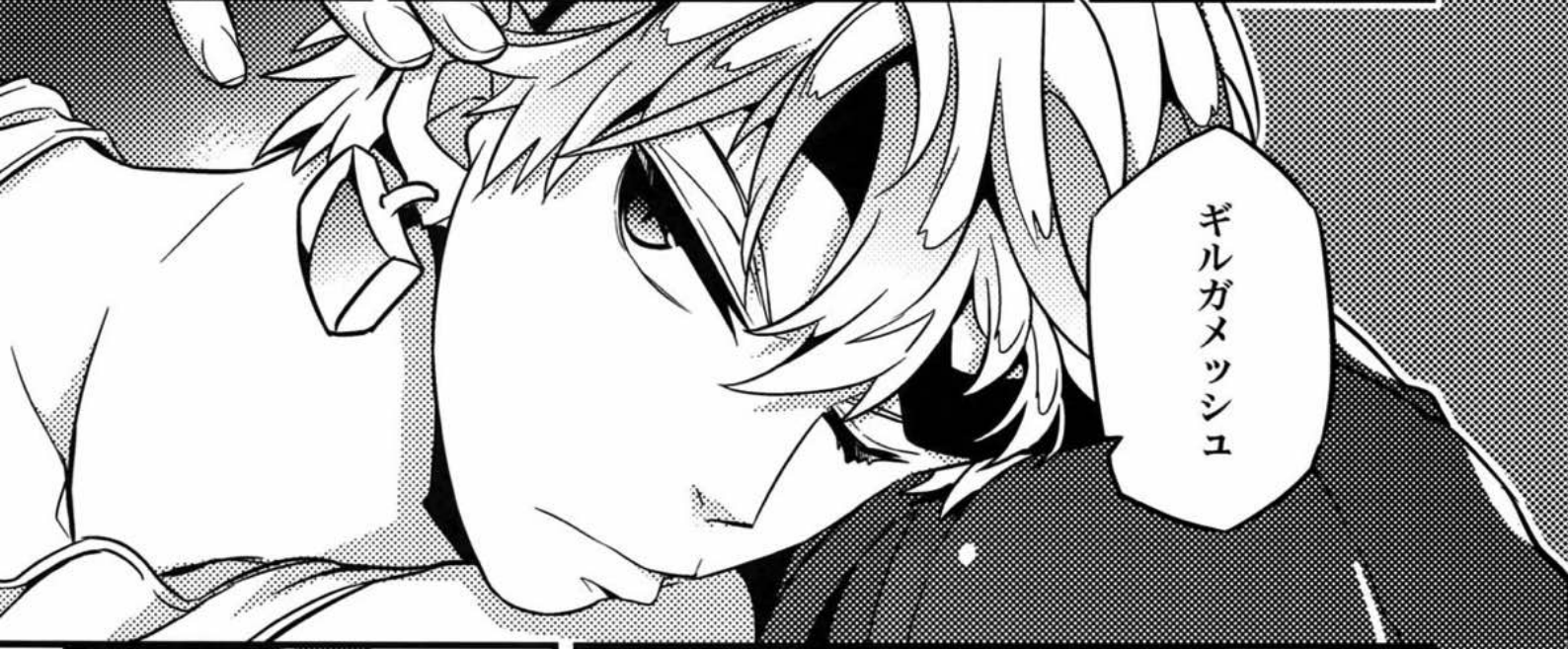


可愛い…

可愛い…



むむむむ



ギルガメッシュ



だいたい雰囲気
綺礼の話など…

つまり
事を言うな



今日
お母上は…

おらぬ

お茶でも…

お茶でも…

おらぬ

お茶でも…



そんな
つまらな
のなら



なんだ
の
か



もう

ここに
来る
の
は
よ
め
に
か
ま
し
よ
う
か



こんな
子
供
相
手
に
...

いいえ？
単に不快に
なっただけです

良い良い
案ずるな

さ...
な...
...



時臣
お前が
どれほど
つまらん男
でもな



お前が愛い事に
変わりはないぞ



時臣…？

なんでもあり
ません…から



子供相手に…

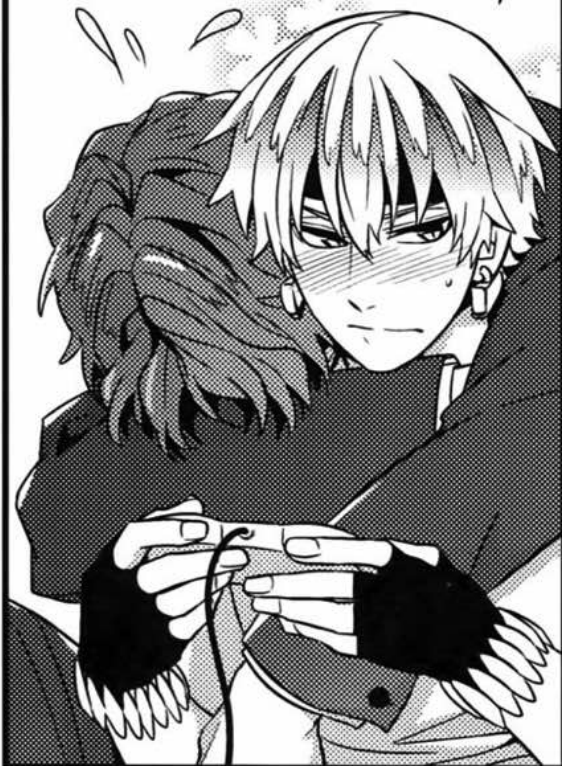


分かったら
大人しく椅子に
なっている

…こんな

…わかった

み…



おしやう

おしやう



大丈夫

You're DEAD!

見ないでください

時臣イ

誰が目を
閉じる事を
許した？

つ...でもつ
でもでは
ないわ

良く見える
であろう？

我とお前の
繋がっている
さまが

お望みの
ままに



目をおいて
目を閉じると
でないと

ゴロ
ゴロ



これがこの
ラブホテルの
醍醐味であらう

何を言うか

仕様の
ない奴よ



ホ...



あっ
悪趣味
ですっつ





あ…?

な

これっ

わっ



王…っ

これは

お前が素直に
従わぬからだ

私の目を
通してとくと
見るが良い



己が痴態を

し、視覚
共有…っ?!





こんな

らめ…

こんな…

こんな顔を
しているのか
いつも

物欲しそうな
顔を…っ



ん…



解けた…？

まあ悪くない
遊びでは
あるが…



っ…

ああ…

やはり貴様は
我を見て
いれば良い





わかって
いたはずだ

初めて視線を
交わした



あの瞬間から

この王の
すべてを

受け入れて
しまったのだと

でも三日
ほどパスを
切らせて
頂きますね

消え
ちやう！

我消え
ちやう！





王…っ



今まで
どちらへ…!!

早く経路を
繋いで下さい

ああこんなにも
枯渇されて…





あ
っ...

んっ



あ
あ
は

は



あ
ふは

んっ
んっ

びびびび

びび



足りぬ



お…王
寝室へ参り
ましよう

こ…では…



は…
こ…こ…

王は

経路を
切り続け

飢餓状態に
陥つてから
私を抱く



まるで何か

理山が必要だとでも
言うかのように





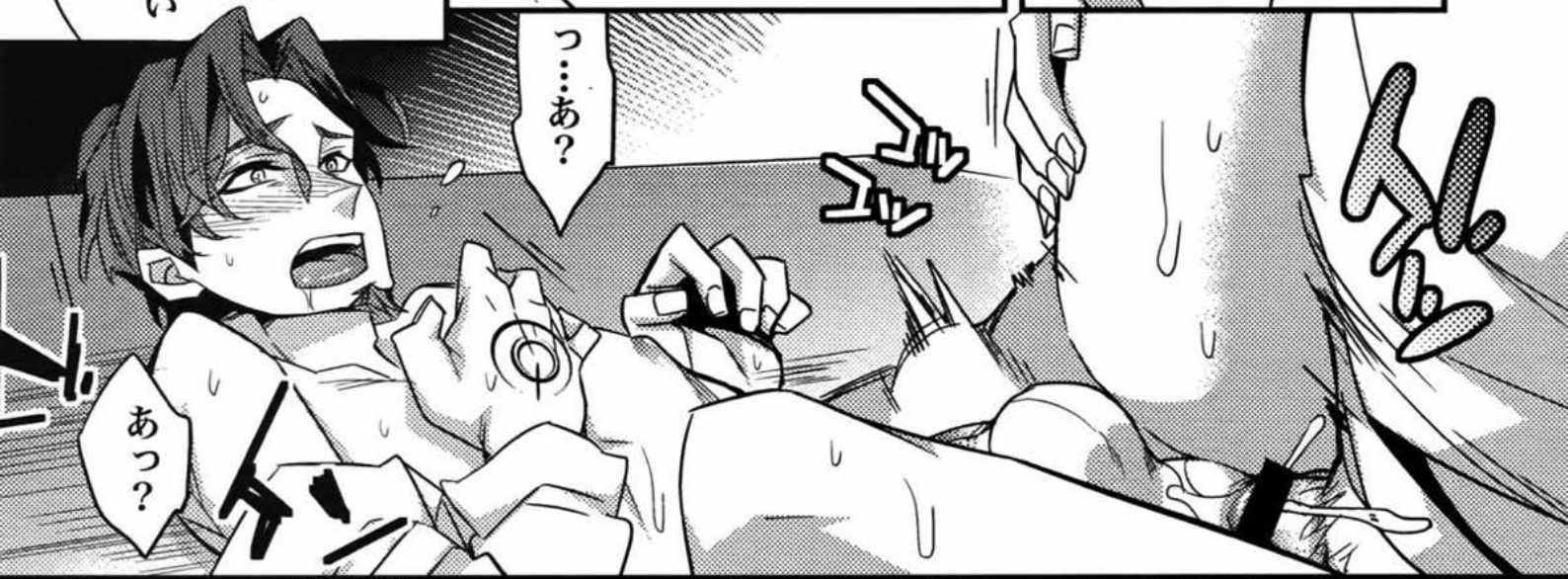
自分で
濡らして
いたか

用意の
良い事だ



やはりな

まあまだ
少しばかり固い
ようだが…



っ…あ？

あっ？



そら
魔力の味が
変わったぞ

っ…あ
う

う



貴様はここを
捏ねればすぐだ



ああ...



む？
...ああ



魔力が
めぐる

わたしのものだ



これは…
本体ではない
写し身

ならばこそ



私だけの

……



お願いが
あります



うん？

きん



この文様は
浮き上がらぬが
良いのか？



なんだまだ
足りぬのか？

そっ
そうでは
なくっ



あのような
枯身状態では
御身に万が一が
起らないか
不安ですし
一度に吸い
上げるに
私の負担も
大きい



このような事は
お控え下さい

ふうむ…
しかしては
それでは

えっ

原初の力は
我的に
本気モードの時
だけだからな

えっ

魔力の急速充填で
擬似的に再現
しておるのよ

お前はこれが
好き上がる様を
好むであろう？



わ…私は
その…

交接による
魔力供給の
口実の為かと…



これは
異なことを



貴様を愛するのに
理由など
必要あるまい？



好き

ありがとうございます!



それはもう

だってだって
理由が
無くなつて
しまつたら



そうか?

そうですっ



時臣の
アプローチは
分かりにくい

王よ

御髪が少々
痛んでおります

全部流れて来るんです
いちだか

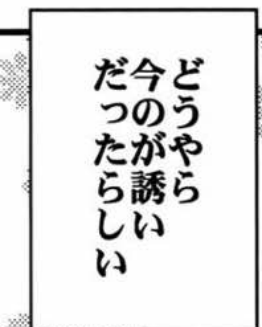


.....



ああ...しばらく
霊体化して
かなかなか
かいた

現界
し直すか



どうやら
今の誘いは
だつたらしい



ホカーン



良いんじゃないですか

へ?



どうだ?

ノッ



ん…
シャワーに
行くか?

もう少し…
このまま



随分と良く
お眠りでしたね
英霊に睡眠は
必要なかった
はずでは？



そうだな
こうして
微睡むのも
良いものだ



どうやらヤリ
足りないかった



分かりにくい

の分かりにくい
のだから！
貴様は！
やりたいたいなら
やりたいたいと言え

やり……っ



英雄王とも
あろう方が
やりたいたいなどと……

はしたない
言いはない
おやめ下さい

何がはしたないだ……
言いはない方を変えたところで
セックスするのには
変わりはないだろう

そもそも！

私は魔力供給
の為に仕方なく
しているんです！



どこかの
万年発情期の
方と違って別に
したいわけでは……





バス
経路が！

バス
経路が！

魔力は淀みなく
流れ込んでいます…
これでもう
セックスの必要は
ないわけだ



ほう…

ほう…

万年発情期…か



まあ…
万年発情期としては
他に肉欲を慰める
相手が必要なわけだが…

ああ貴様には
関係のない
話だったな

せいぜい外で
楽しんで
来るとしよう

っ…





それでなぜ
私の所へ来る



そうか
一週間か…
どうりで



もう
一週間だぞ！

あやつの顔を
見ていたら
やりたくなる
だろうが！

他で遊ぶと
言いつつ律儀に
守っているわけか



師が熱っぽい目で
見つけて来たのも
納得がいく…



というのはいま
勿論冗談だが…
二度と来るな♥

なんだもう
酒がないか！
ではないか！

つまらん帰る！
帰るぞ！

お帰り
なさいませ

戻ったぞ

あ！
申し訳ありません
湯を使っただけ
ばかりです

このような
格好を…

…

あの…
そろそろ暖かくなって
まいりましたので
寝具を春物に
変えておきました

そうか

そして寝具の話により
意識を寝室に
向ける作戦…
時臣にしては悪くない

だが

そんな安い挑発に
乗るような我
ではない!

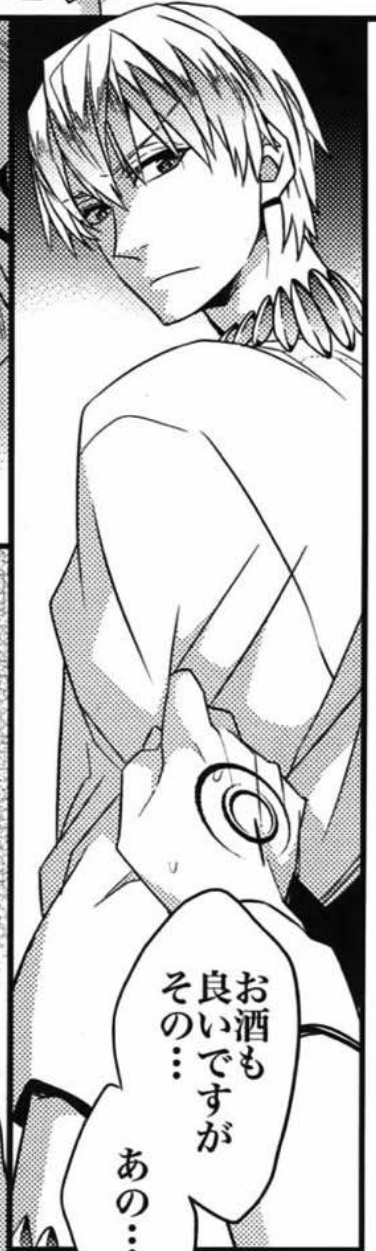
呑み足りん
酒を持て!

あ
あのっ

おはようございませぬ



わ…



お酒も
良いですが
その…

あの…

わたしの事も

召し上がって
頂けませんか…?



あっ

くそ...もつと
焦らす予定
だったのに
私の威厳が
台無し
ではないかっ

煽る貴様が
悪いのだ!

王...まっ
はっ...っ...





お前の愛い姿が
余すどころなく
鑑賞出来て

我は
好きだぞ



っ…



そ…んな
こと

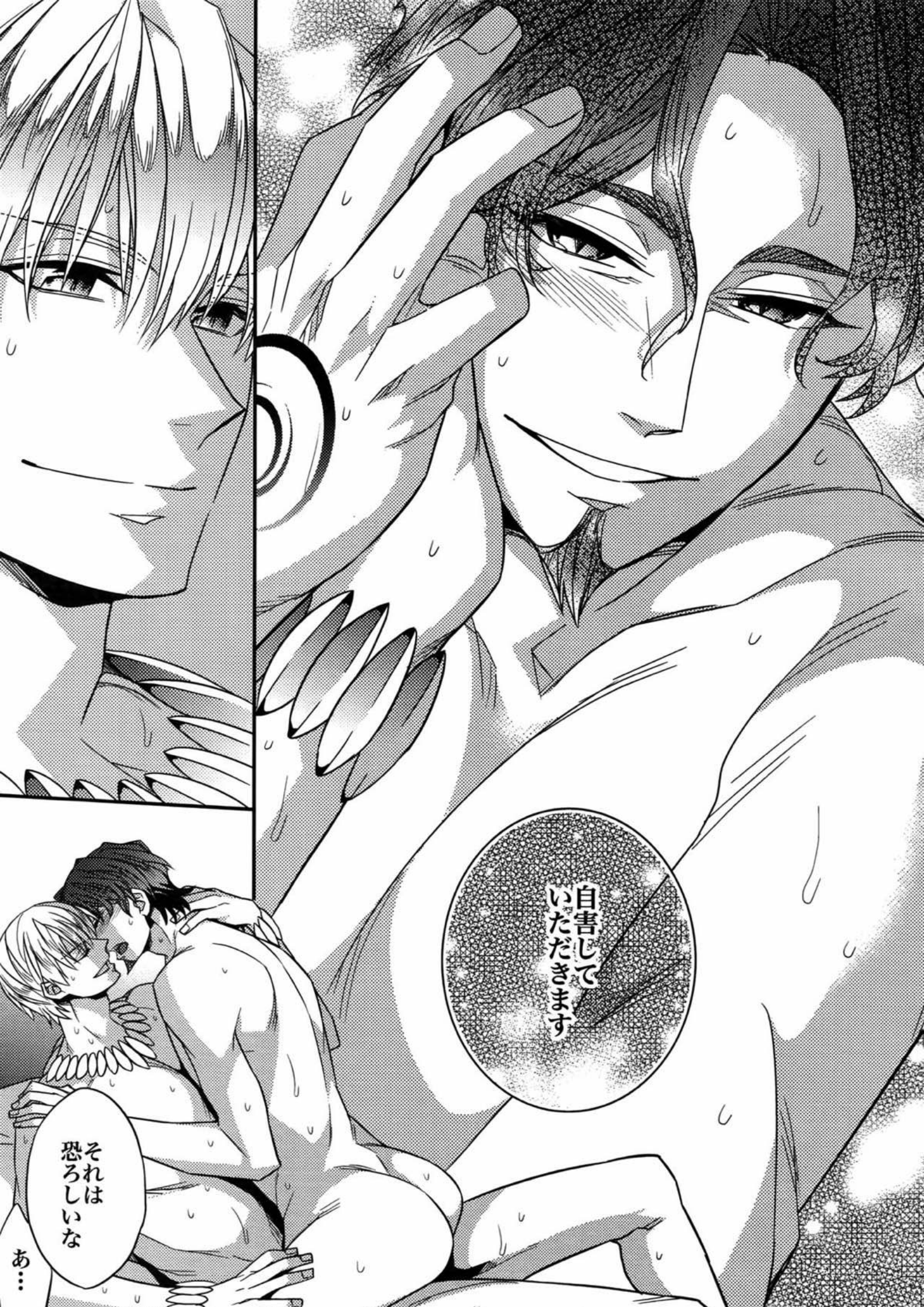
私以外に言っては…
嫌ですよ

ああ

もし
言ったら



言ったら？

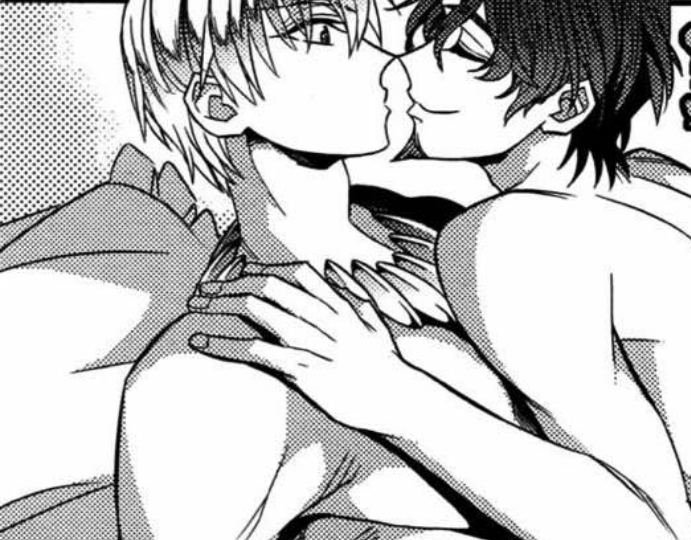


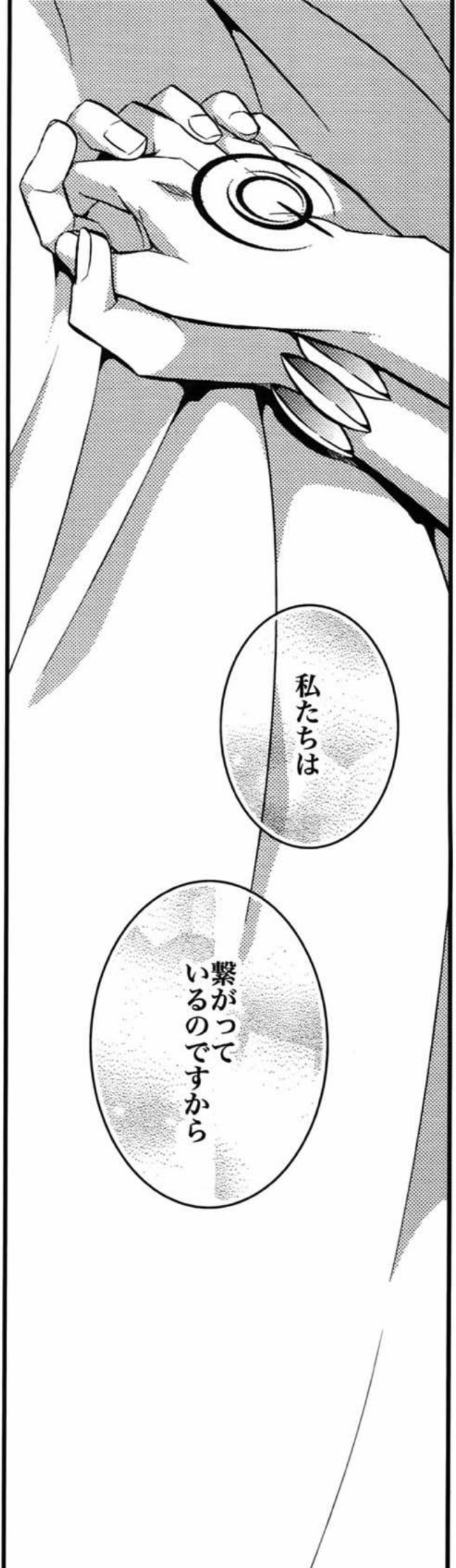
自害して
いただきます

それは
恐ろしいな

あ…







私たちは

繋がって
いるのですから

そのあと
無茶苦茶
セツクスした





RE:Crazy9

死に至る病
お戯れを!
姫始めYEAAAH!!!
対魔力Cですから
貴様の寝てる間に
綺礼ちゃんが見てる

Contribution

沖縄の海は私の海
つまらなくても大丈夫
お望みのままに
あとに残るのはひとつだけ
全部流れて来るんです